

ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設  
利用の手引き  
第1版

ILAS & RIS Data Handling Facility USAGE GUIDE  
(Version 1)



衛星観測プロジェクト  
神沢 博編

Edited by H. Kanzawa  
ILAS & RIS Project

平成8年11月  
November 1996

国立環境研究所  
NATIONAL INSTITUTE FOR ENVIRONMENTAL STUDIES

## はじめに

本手引書は、ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設（ILAS & RIS Data Handling Facility、以下ILAS & RIS DHF）を利用する研究者を対象にした、利用環境、及び利用方法を記載しています。原則として、ILAS & RIS DHF を利用する研究者は、本手引書に記載されている利用方法に従って下さい。それ以外の利用を要望される場合は、ILAS & RIS DHF 責任者に相談し、承認を受けて下さい。

ILAS & RIS DHF の利用に当たり、以下の点にご注意下さい。

- ・ILAS データ処理・運用システムのソフトウェア開発期間及びADEOS 衛星打ち上げ（1996年8月）後の初期チェックアウト期間（～1996年11月上旬）において、ソフトウェア開発及びテスト、初期チェックアウト期間中の各種テストが本施設にて行われます。ILAS & RIS DHF の利用に際して、計算機の停止や利用制限、ディスク等各種計算機資源の利用制限等の制約が発生する場合があります。
- ・衛星データの定常処理運用以降（1996年11月中旬以降）、本施設にて、衛星データの定常処理運用が行われます。ILAS & RIS DHF の利用に際し、一部利用制限の発生する場合があります。
- ・運用変更等により、利用環境、及び利用方法等、本手引書の記載内容に変更が発生する場合があります。その節は別途ご連絡致します。

神沢 博  
ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設責任者  
国立環境研究所地球環境研究センター

1996年11月

## 目次

## 第1章 ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設利用の概要

1.1	ILAS & RIS DHF の目的	1
1.2	ILAS & RIS DHF 利用概要	1
1.2.1	ILAS & RIS DHF の利用内容	1
	(1) 計算機資源の利用 (各種参照データの利用含む)	1
	(2) ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用	1
1.2.2	ILAS & RIS DHF の計算機資源の利用	3
	(1) ILAS & RIS DHF 計算機の利用環境	3
	(2) ILAS & RIS DHF 利用形態	4
	(3) ILAS & RIS DHF 利用時間	5
	(4) ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データの概要	6
1.2.3	ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用	7
	(1) ILAS 標準処理データの提供機能の利用概要	7
	(2) RIS 標準処理データの提供機能の利用概要	7
1.2.4	利用に関する各種申請	8
	(1) 申請責任者	8
	(2) 各種申請概要	8
1.3	連絡先	9

## 第2章 計算機資源の利用環境と利用方法

2.1	計算機設備の概要	10
	(1) ILAS & RIS DHF のレイアウト	10
	(2) 設備構成	10
	(3) 機械仕様	10
	(4) ネットワーク構成	10
	(5) AIX (SP2, RS/6000) 環境とSolaris (SS1000, SS20) 環境の分離	10
2.2	計算機資源の利用環境	17
2.2.1	CPU の利用環境	17

2.2.2	DISK の利用環境	18
(1)	ユーザ領域	18
(2)	バックアップ/復元	19
2.2.3	各種周辺機器	20
2.3	計算機の利用方法	21
2.3.1	ログイン方法	21
(1)	ILAS & RIS DHF 外部からのログイン	21
(2)	ILAS & RIS内部でのログイン	22
2.3.2	プリンターの利用	23
(1)	モノクロプリンターIMAGIO 530/PJ5(oprepm1)の利用方法	23
(2)	カラープリンターPhaser440J(anaepl1)の利用方法	23
2.3.3	コンパイラ	24
(1)	Cコンパイラ	24
(2)	FORTRAN コンパイラ	25
2.3.4	各種パッケージソフト・ライブラリ	25
(1)	ILAS & RIS DHF で利用可能なパッケージソフト・ライブラリ	25
(2)	パッケージソフトの利用方法	25
(3)	利用可能なFree Software	25
2.3.5	ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データ	28
(1)	各種参照データの利用概要	28

### 第3章 ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用

3.1	ILAS 標準処理データの提供機能の利用	30
3.1.1	提供データの内容	30
3.1.2	提供機能を利用するために必要な申請	31
(1)	提供機能を利用するために必要な申請	31
(2)	提供機能用計算機	31
3.2	RIS 標準処理データの提供機能の利用	32

### 第4章 ILAS & RIS DHF利用に関する各種申請

4.1 ユーザアカウント登録申請の手順 . . . . .	33
4.2 ユーザ個人領域拡張申請の手順 . . . . .	36
4.3 パスワード再発行申請の手順 (パスワード不明時の対処方法) . . . . .	38
4.4 ユーザ個人領域データ復元申請の手順 . . . . .	40
4.5 ユーザアカウント削除申請の手順 . . . . .	42

## 付 録

資料 ILAS & RIS DHF 利用に関する各種申請の詳細

## 第1章 ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設利用の概要

### 1.1 ILAS & RIS DHF の目的

ILAS・RIS 衛星データ処理運用施設 (ILAS & RIS Data Handling Facility、以下 ILAS & RIS DHF と呼ぶ) は、ADEOS<sup>\*</sup> 衛星搭載センサー、ILAS<sup>\*\*</sup> およびRIS<sup>\*\*\*</sup>によるオゾン層の監視、調査研究を目的とした衛星観測プロジェクトを支援するための、環境庁国立環境研究所地球環境研究センターの施設です。ILAS 及びRIS を処理した結果のデータおよび関連データの一元的な保存、管理を行います。また、ILAS & RIS DHF の利用者に対しては、データの提供、及び研究を目的とした計算機資源の提供等を行います。

- \* ADEOS : Advanced Earth Observing Satellite  
(打ち上げ後「みどり」と名付けられた)
- \*\* ILAS : Improved Limb Atmospheric Spectrometer  
(改良型大気周縁赤外分光計)
- \*\*\* RIS : Retroreflector In Space  
(地上衛星間レーザー長光路吸収測定用リトロリフレクター)

### 1.2 ILAS & RIS DHF 利用概要

#### 1.2.1 ILAS & RIS DHF の利用内容

ILAS & RIS DHF では、以下の利用が可能です。

- (1) 計算機資源の利用 (各種参照データの利用含む)  
(ILAS & RIS DHF 内のネットワークセグメント上の計算機資源のサービス)
- (2) ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用  
(国立環境研究所のファイアウォールの外のバリアセグメント上のデータ提供用計算機上でサービス)

(1) に関しては第2章、(2) に関しては第3章及び「ILAS ユーザーズハンドブック第3章」、「RIS ユーザーズハンドブック」を参照して下さい。

尚、(1)、(2) の利用に必要な申請については、第4章を参照して下さい。図1.1にILAS & RIS DHF の利用内容を示します。

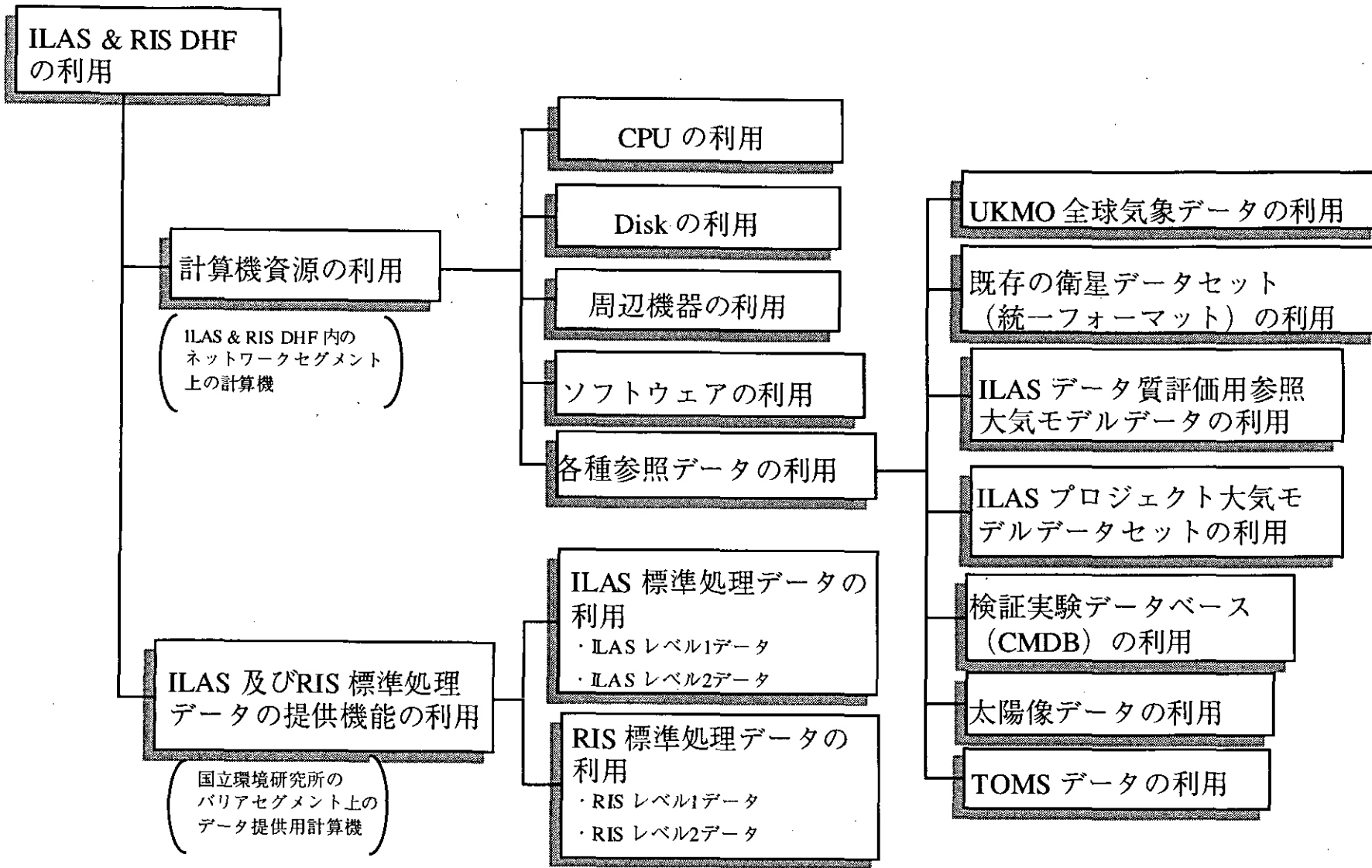


図1.1 ILAS & RIS DHF の利用内容

## 1.2.2 ILAS & RIS DHF の計算機資源の利用

### (1) ILAS & RIS DHF 計算機の利用環境

#### (a) 利用可能な資源

##### ・ ハードウェア

ILAS & RIS DHF で利用可能なハードウェア資源には、CPU、DISKの他にプリンタやテープ装置等の周辺装置があります。詳細は、「第2章 2.2 計算機資源の利用環境」を参照下さい。

##### ・ ソフトウェア

ILAS & RIS DHF で利用可能なソフトウェアは、コンパイラ、各種パッケージソフトウェアがあります。利用方法等の詳細は、「第2章 2.3 計算機の利用方法」を参照下さい。

##### ・ マニュアル

ILAS & RIS DHF では、ハードウェア、ソフトウェアのマニュアルを各種常備しています。ILAS & RIS DHF (解析室) 内で参照できます。また、必要な場合、マニュアルの貸出も実施しています (一部貸出し不可)。

#### (b) バックアップ/復元

ILAS & RIS DHF の運用者が、ユーザ個人領域のDISKの領域を定期的にバックアップしています。必要な場合、バックアップデータからの復元が可能です。詳細は、「第2章 2.2.2 DISKの利用環境」を参照下さい。

#### (c) WWWサーバー

ILAS & RIS DHF の概要や活動内容を紹介するILASプロジェクトホームページにアクセスするためのWWWサーバーを設置しています。RISプロジェクトホームページも設置しています。

URLアドレスは、

ILAS プロジェクトホームページ

<http://www-ilas.nies.go.jp/>

RIS プロジェクトホームページ

<http://www-ris.nies.go.jp/>

です。



(d) メーリングリスト

ILAS & RIS DHF 利用ユーザ間の情報交換の場として、メーリングリスト（日本語）を開設しています。利用に際しての意見、改善等にご活用下さい。登録ご希望の方はアカウント申請時の用紙に指定して頂くか、別途ご連絡をお願い致します。

(2) ILAS & RIS DHF 利用形態

(a) 計算機資源の利用

計算機資源の利用形態には以下の2つがあります。

- ・ 通信回線によるILAS & RIS DHF 外部からのアクセス利用  
 ILAS & RIS DHF 外部から、通信回線（インターネット）により、ILAS & RIS DHF 内部のWSにログインして、計算機資源を利用したり、各種参照データの利用及び取得を行うことができます。
- ・ ILAS & RIS DHF に来訪しての施設利用  
 ILAS & RIS DHF（解析室）に入室して、内部の施設を直接利用することができます。  
 ILAS & RIS DHF は、目的別に3室に分けられています。詳細は「2.1 (1) ILAS & RIS DHF のレイアウト」を参照して下さい。研究者は、解析室のみ入室可能であり、その他の室は、原則として入室禁止です。入退室に際しては、ILAS & RIS DHF 入退室規則に従って下さい。

(b) 各種参照データの利用

ILAS & RIS DHFにおいて利用できる各種参照データへのアクセス方法は以下の通りです。詳細については、「1.2.2 (4) ILAS & RIS DHFで利用できる各種参照データの概要」及び「2.3.5 ILAS & RIS DHFで利用できる各種参照データ」を参照下さい。

表1.1 ILAS & RIS DHFにおいて利用できる参照データへのアクセス方法

利用可能な参照データ	アクセス方法
既存の衛星データセット (ILAS & RIS DHF 統一フォーマット)	・ 参照依頼後、共有領域に作成されたファイルを参照
UKMO全球気象データ ILAS データ質評価用参照大気モデル ILAS プロジェクト大気モデルデータセット 検証実験データベース (CMDDB) 太陽像データ TOMSデータ (レベル2, 3は利用可、レベル2, 3はTBD)	・ ILAS & RIS DHF 計算機での参照 ・ FTPによるファイル転送

### (3) ILAS & RIS DHF 利用時間

#### (a) 通信回線によるILAS & RIS DHF 外部からのアクセス利用

原則として、24時間通年利用可能です。

#### (b) ILAS & RIS DHF に来訪しての施設利用

原則として、月曜日から金曜日（閉庁日を除く）の午前9時00分より午後5時00分までとします。（日本標準時間）

#### (c) ILAS & RIS DHF 利用の停止について

##### ・ 定期的な利用停止

月に一度、土曜から日曜にかけてディスク（ユーザ個人領域）のバックアップを行います。この間の利用はできません。詳細は「2.2.2 DISK の利用環境」を参照下さい。

##### ・ 不定期的な利用停止

ILAS & RIS DHF の利用時間帯は、上記(a)、(b)のとおりですが、以下の理由により、ILAS & RIS DHF の利用を停止する場合があります。

- ILAS & RIS DHF の障害／保守による停止
- 停電（環境研の電源設備の法定点検／保守を含む）による停止
- 環境研自体の障害／保守による外部とのネットワークの停止
- ILAS & RIS DHF 環境変更、システムおよびユーザ個人領域のバックアップ等による、ILAS & RIS DHF 運用作業のための停止
- その他 ILAS & RIS DHF 運用で必要と判断した場合の停止

なお、停止の案内は、電子メール等により、可能な限り事前にご連絡しますが、障害による停止等、事後連絡となる場合もあります。

(4) ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データの概要

ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データの概要を表1.2 に示します。詳細は「2.3.5 ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データ」を参照下さい。

表1.2 ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データの概要

参照データの種類	参照データの内容
UKMO全球気象データ	UKMO提供の全球の3次元グリッドにおける気象データ (気温、気圧、風向・風速データ等)
既存の衛星データセット (ILAS & RIS DHF 統一フォーマット)	NASAの衛星観測による大気微量成分ガス濃度やエアロゾル消散係数等の鉛直分布データ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ UARSレベル3ATデータ (HALOE, CLAES, ISAMS, MLSの各センサで観測されたデータ)</li> <li>・ SAGE-I, SAGE-II, SAM-II データ</li> </ul>
ILAS プロジェクト大気モデルデータセット	上記の既存の衛星データセットをもとに、ILAS の測定対象パラメータ毎に緯度帯別及び期間別に平均、標準偏差等の統計値を算出した鉛直分布データ
ILAS データ質評価用参照大気モデルデータ	ILAS プロジェクト大気モデルデータセットをもとにしてILAS のデータ質評価用に作成した大気モデルデータ
検証実験データベース (CMDB)	ILAS 検証実験データを収集・保存したデータ
太陽像データ	太陽観測拠点 (郵政省通信総合研究所(CRL)平磯支所及び Big Bear Solar Observatory) にて観測された太陽画像データ
TOMSデータ	ADEOS搭載のTOMSセンサーで観測されたデータ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TOMS L2'データ</li> <li>・ TOMS L3'データ</li> <li>・ TOMS L2データ (TBD)</li> <li>・ TOMS L3データ (TBD)</li> </ul>

### 1.2.3 ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用

#### (1) ILAS 標準処理データの提供機能の利用概要

詳細については「第3章 ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用」、  
「ILAS ユーザーズハンドブック第3章 ILAS 標準処理データの提供」を参照して  
下さい。概要を以下に示します。

##### (a) ILAS 標準処理データの提供方法

以下の4通りの方法があります。

- ・ データ提供システムによる提供
- ・ ILAS-WWW による提供
- ・ CEOS-IDN による提供
- ・ 電子メール、手紙、FAX による提供

##### (b) 提供データの内容

提供可能なILAS 標準処理データを以下に示します。

- ・ ILAS レベル1データ (媒体のみ)
- ・ ILAS レベル2データ (オンライン、媒体)  
ファイル形式はHDF 形式及びテキスト形式 (AMES フォーマット) が選択可  
能です。  
提供時の媒体として各種選択が可能です。

#### (2) RIS 標準処理データの提供機能の利用概要

詳細については「RIS ユーザーズハンドブック」を参照して下さい。  
(提供方法、提供データの内容についてはTBD)

### 1.2.4 利用に関する各種申請

#### (1) 申請責任者

サイエンスチームレギュラーメンバー、プロジェクト検討委員、検証実験チームメンバー、JRA-PI等を申請責任者とします。ILAS & RIS DHFの利用申請に関する連絡は、申請責任者を窓口として行います。申請責任者は、ご自分のグループの共同研究者等の利用に関して責任をもって頂く方で、各種申請（ユーザーアカウント登録およびユーザー個人領域拡張）、及びご自分のグループの利用に携わる管理をお願い致します。

#### (2) 各種申請概要

「計算機資源の利用」または、「ILAS及びRIS標準処理データの提供機能の利用」を行うにはアカウントの登録が必要です。以下に利用に関する各種申請項目を記述します。詳細は第4章を参照下さい。

表1.3 各種申請の一覧表

申請項目	計算機資源の利用申請における必要性	ILAS及びRIS標準処理データの提供機能の利用申請における必要性	利用者側窓口
ユーザーアカウント登録申請	○	○	申請責任者
ユーザー個人領域拡張申請	○	×	
パスワード再発行申請	○	×	利用者
ユーザー個人領域データ復元申請	○	×	
ユーザーアカウント削除申請	○	○	申請責任者

## 1.3 連絡先

ILAS & RIS DHF 利用に関する各種申請及び問い合わせの際の連絡先を、以下に記します。

表1.4 ILAS &amp; RIS DHF 連絡先

連絡先窓口	ILAS & RIS DHF 運用管理者
住 所	〒305 茨城県つくば市小野川 16-2 国立環境研究所 研究本館 III ILAS & RIS DHF
TEL	0298-50-2568
FAX	0298-56-6995
電子メールアドレス	admdhf@ilasris.nies.go.jp

## 第2章 計算機資源の利用環境と利用方法

### 2.1 計算機設備の概要

ILAS & RIS DHF の計算機設備は、高速データ処理を実現するために24のノードから構成されるIBM 9076-SP2 (SP2) を基本とし、SUN SPARC Server1000 (SS1000) やSUN SPARC Station20 (SS20)、IBM RISC System / 6000 (RS/6000) といったワークステーションで構成されています。

本設備は、内部からの利用だけでなくインターネットによる外部からの利用も可能です。

以下に計算機の利用環境について説明します。

#### (1) ILAS & RIS DHF のレイアウト

ILAS & RIS DHF は、ILAS・RIS 並列処理室、ILAS・RIS 運用管理室、ILAS・RIS 解析室からなっています。研究者の方は原則としてILAS・RIS 解析室のみ入室可能です。

図 2.1にILAS & RIS DHF レイアウト、図 2.2にILAS & RIS DHF 解析室の詳細レイアウトを示します。

#### (2) 設備構成

ILAS & RIS DHF の設備構成を、図 2.3に示します。研究者の方には、衛星データの定常運用への影響を避けるため、利用できるCPUの制限を行っています。詳細については「2.2.1 CPUの利用環境」を参照して下さい。

#### (3) 機械仕様

ILAS & RIS DHF で使用されている計算機の機械仕様を、図 2.4に示します。

#### (4) ネットワーク構成

ILAS & RIS DHF は、図 2.5に示すようなネットワーク構成になっています。インターネットによる外部からのアクセスが可能なのは、2台のゲートウェイマシンのみです。(ホスト名: sp2fr, anafs01)

ログイン方法の詳細は、「2.3.1 ログイン方法」を参照して下さい。

#### (5) AIX (SP2, RS/6000) 環境と Solaris (SS1000, SS20) 環境の分離

ILAS & RIS DHF では、IBMワークステーション (OS: AIX) とSUNワークステーション (OS: Solaris) 間のネットワーク負荷削減の観点から、ディスク利用環境をAIX用、Solaris用に分離しています。

これにより、図 2.6に示すようにSP2, RS/6000とSS1000, SS20とでは、ログイン時のディスク環境が異なります。

ILAS・RIS解析室(381)

ILAS・RIS運用管理室(382)

ILAS・RIS並列処理室(383)

1996年11月現在

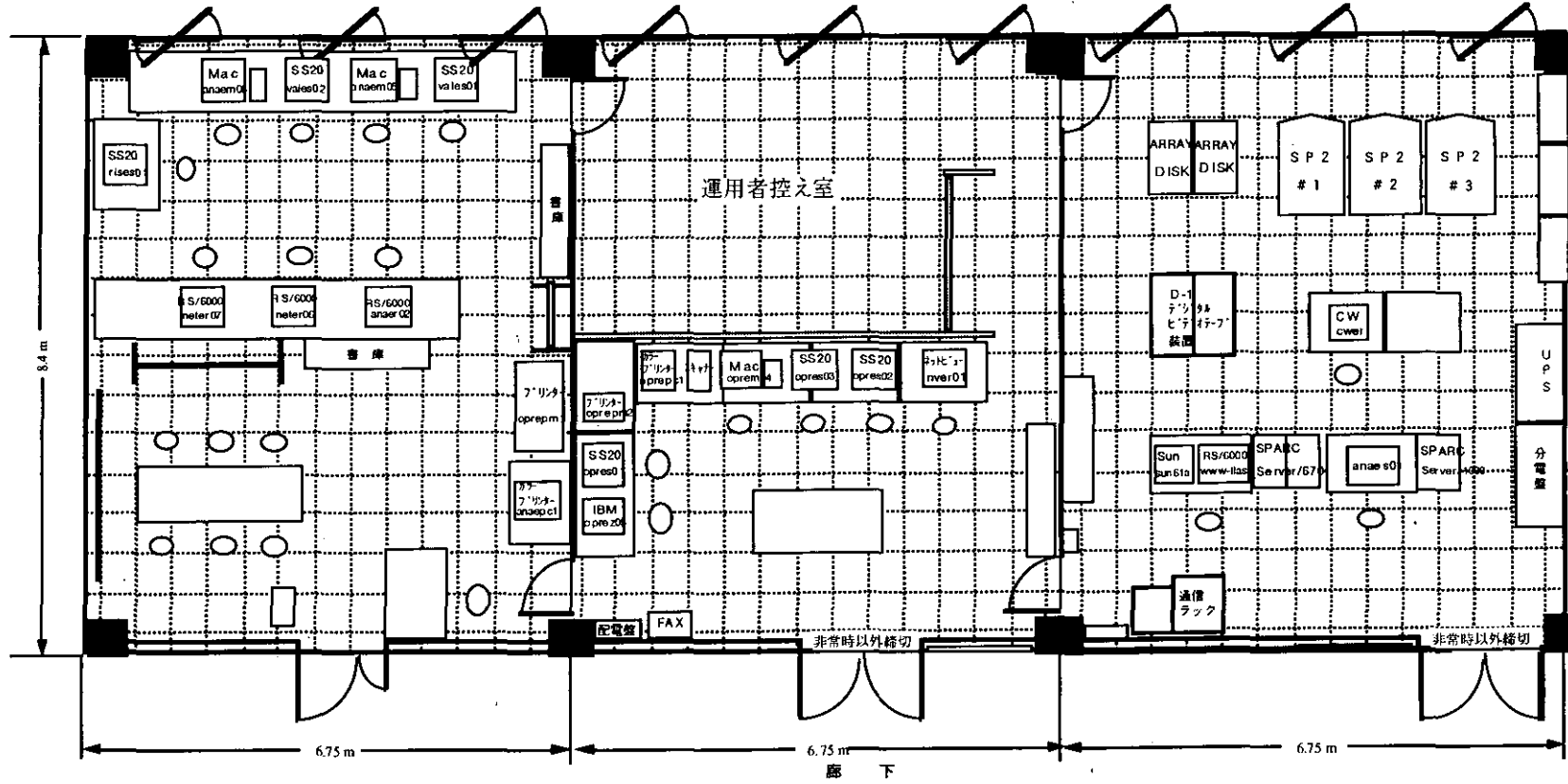


図 2.1 研究本館Ⅲ 3階 ILAS & RIS DHF レイアウト



ILAS・RIS解析室(381)

1996年11月現在

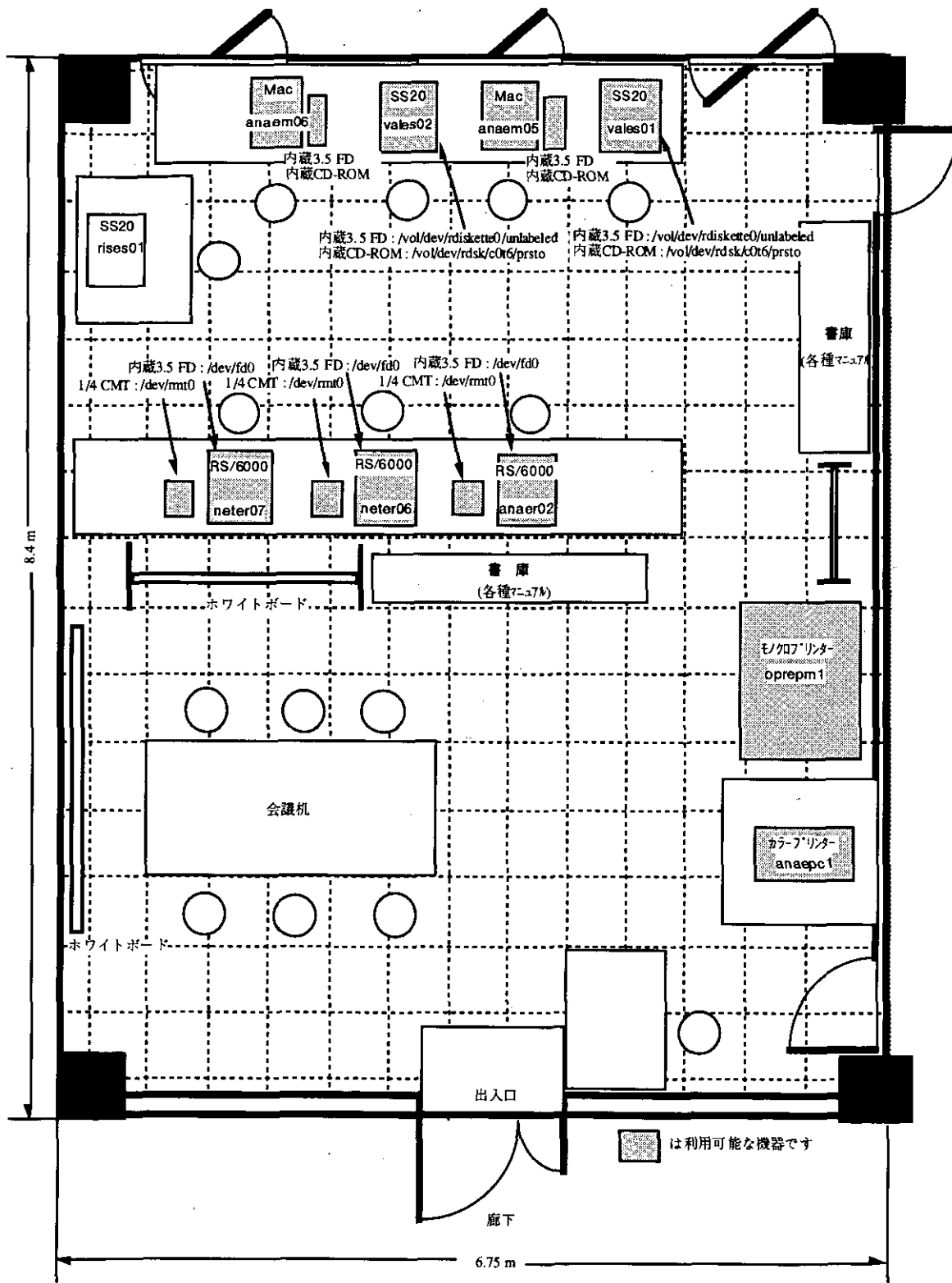


図 2.2 本館Ⅲ ILAS & RIS DHF解析室 レイアウト

# ILAS & RIS DHF 計算機システム

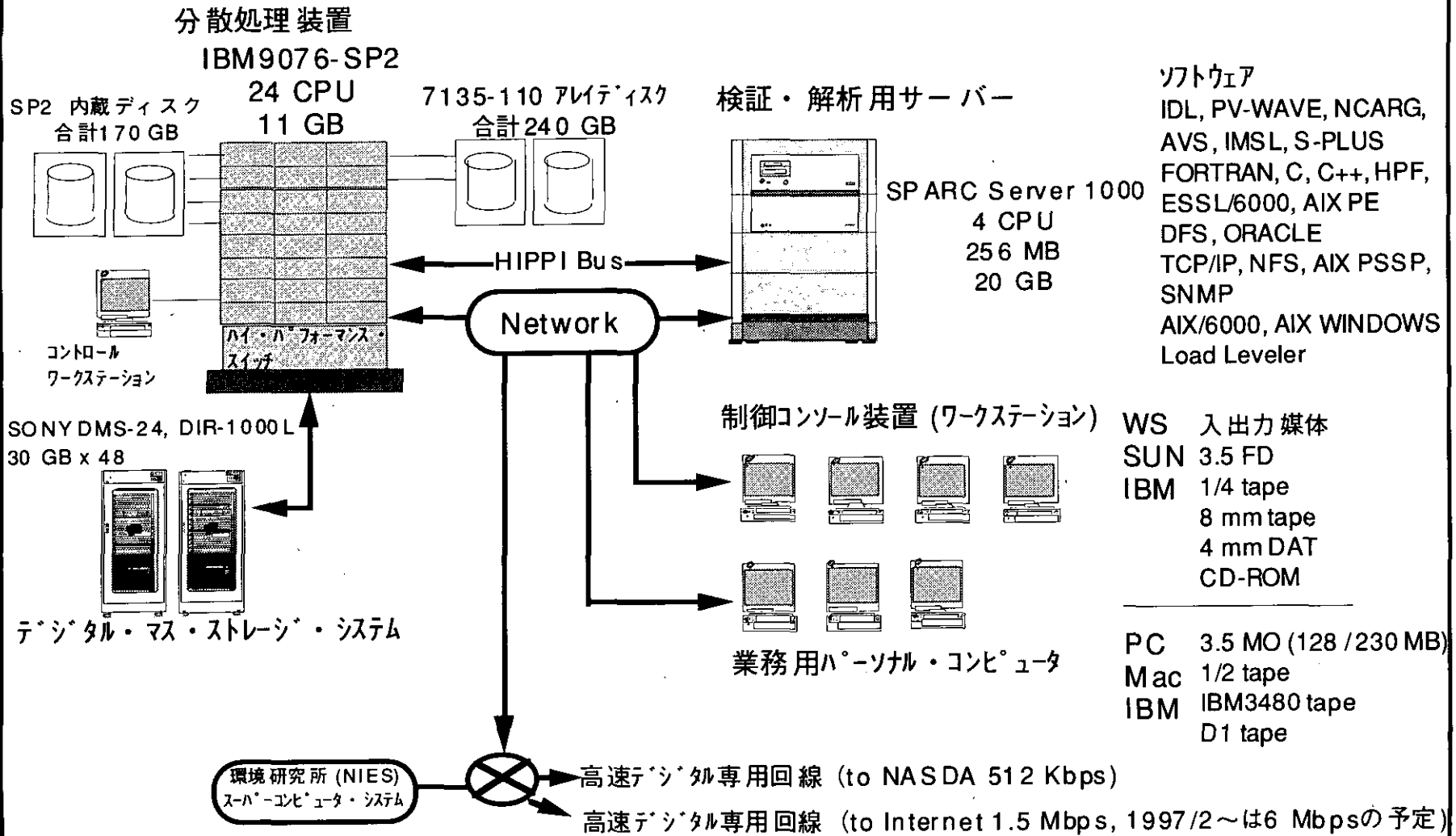


図 2.3 設備構成

## ILAS & RIS DHF 計算機システム

### 機械仕様 (全体)

#### ■ 分散処理機能

IBM9076-SP2 (24 CPUタイプ)

- CPU数 : 24
- 研究者割当CPU数 : 4
- 総主記憶容量 : 11 GB
- 総ディスク容量 (内蔵) : 168 GB
- 演算速度 : Peak Performance 6.4 Gflops  
SPEC int値 2918.4  
SPEC fp値 6232.8  
Linpack(n=100) 値 3.2 Gflops
- 高速ネットワーク : ハイ・パフォーマンス・スイッチ  
スイッチ 総転送速度 80 MB/秒
- 付属I/O装置 : アレイ型磁気ディスク装置  
(総容量240 GB)  
D-1 デジタルビデオテープ装置  
(記憶容量最大 1.4 TB)  
オープンリールテープ、8 mmテープ、  
4 mmテープ装置等

#### ■ 検証・解析用サーバー

SPARC Server 1000

- CPU数 : 4
- 総主記憶容量 : 256 MB
- ディスク容量 : 20 GB (アレイ型ディスク)
- 演算速度 : SPEC rate-int 92値 7,707  
SPEC rate-fp 92値 8,557
- 付属I/O装置 : HIPPIインターフェイス  
(対分散処理装置)

#### ■ その他主要ワークステーション

- IBM RS/6000 Model 25X-Turbo  
SPEC int値 78.8 SPEC fp値 90.4
- SPARC Station 20 Model 61  
SPEC int値 88.9 SPEC fp値 102.8
- SPARC Station 20 Model 50  
SPEC int値 69.2 SPEC fp値 78.3

図 2.4 ILAS & RIS DHF 機械仕様

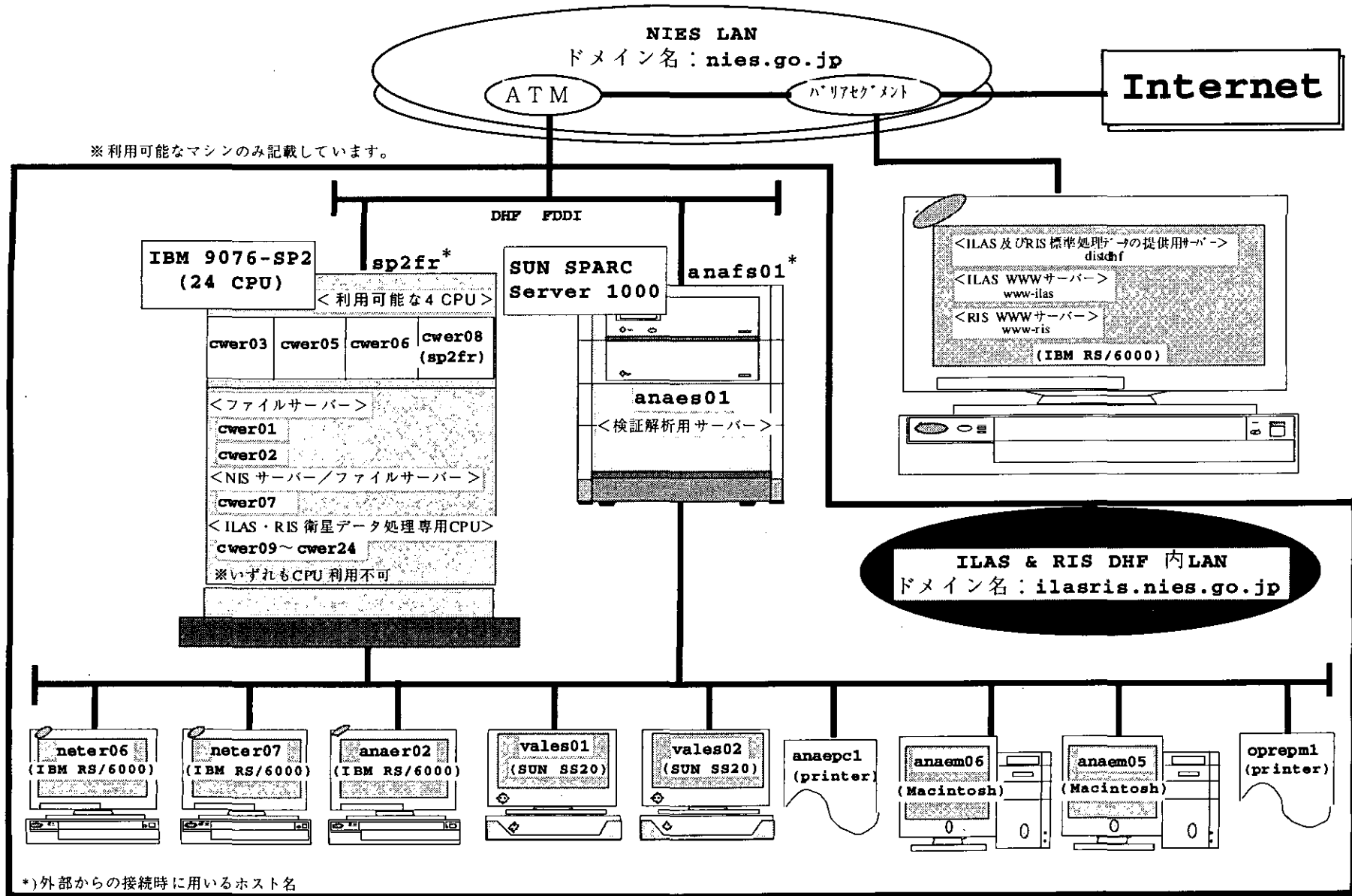


図 2.5 ILAS & RIS DHF ネットワーク構成図 (注・この図は関係者以外は原則として配布禁止とします)

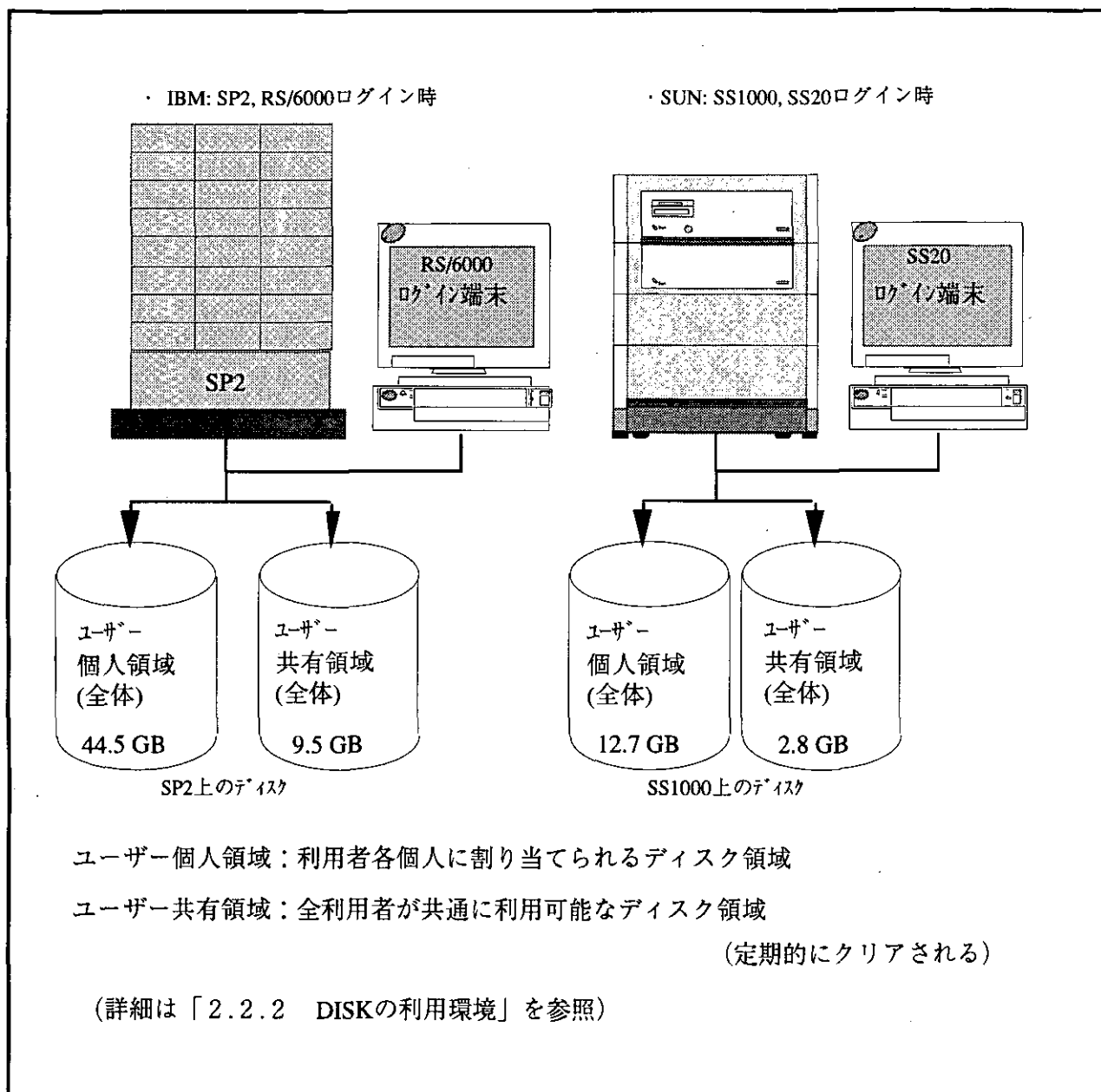


図 2.6 IBM (SP2, RS/6000) 及びSUN (SS1000, SS20) のユーザー領域

## 2.2 計算機資源の利用環境

### 2.2.1 CPUの利用環境

以下にILAS & RIS DHF において利用可能なCPUを示します。外部から利用する場合は、いったんゲートウェイマシン（ホスト名：sp2fr, anafs01）にログインする必要があります。

表 2.1 CPUの利用環境

種別	ILAS & RIS DHF 内外からのホスト名		機種(OS)	設置場所
	内部	外部		
データ診断用ワークステーション	vales01		SUN SPARC Station 20 Model 61 (Solaris 2.5)	ILAS & RIS DHF 解析室
	vales02		SUN SPARC Station 20 Model 61 (Solaris 2.5)	
検証・解析用端末ワーク ステーション	anaer02		IBM RS/6000 (AIX 3.2)	
	neter06		IBM RS/6000 (AIX 3.2)	
	neter07		IBM RS/6000 (AIX 3.2)	
検証・解析用パーソナル コンピュータ	anaem05		Power Macintosh 8100/80 (MacOS J1-7.5.1)	
	anaem06		Power Macintosh 8100/80 (MacOS J1-7.5.1)	
検証・解析用サーバワーク ステーション	anaes01	anafs01 *	SUN SPARC Server 1000 (Solaris 2.3)	ILAS & RIS DHF 並 列処理室（但し、来 所利用の場合には、 解析室からリモート で利用して下さい）
分散処理アルゴリズム開 発用計算機クラス	cwer03		IBM 9076 SP2 (AIX 3.2)	
	cwer05			
	cwer06			
	cwer08	sp2fr *		

\* 外部からアクセスする際のドメイン名  
 anafs01.ilasris.nies.go.jp  
 sp2fr.ilasris.nies.go.jp

尚、ILAS Project Staff グループに属するユーザーは、上記マシン以外にcwer01, cwer02, cwer04, cwer07 の利用も可能で、RIS グループに属するユーザーは、ILAS & RIS DHF 解析室内のrises01 のみ (TBD) が利用可能です。

## 2.2.2 DISK の利用環境

以下にILAS & RIS DHF でのDISK 利用環境について説明します。

### (1) ユーザー領域

#### (a) ユーザー個人領域 (ホームディレクトリ)

ユーザー個人領域とは、ログイン時のホーム領域 (/home/ユーザー名) のことをいい、決められたサイズ内で自由に使用可能でかつ保存される領域を示します。

ユーザー個人領域のサイズは、ユーザーアカウント登録申請時のサイズをもとに決定します。拡張が必要になった場合には、拡張申請をして頂き、DHF での調整を経て拡張領域を決定します。ユーザー個人領域のサイズは、AIX用及びSolaris用どちらも"小", "中", "大"のいずれかから選択して下さい。選択項目"大"を選択した場合には、ILAS & RIS DHF 責任者との相談を経て領域のサイズを決定するものとします。(表2.2 参照)

ユーザー個人領域は、AIX用とSolaris用の双方に設定することを原則としており、SP2, RS/6000にログインすればAIX用、SS1000, SS20にログインすればSolaris用のディスク環境がオートマウント機能で自動的にマウントされます。

例) AIX 環境ログイン時

/home -> /home\_aix/ユーザー名

Solaris 環境ログイン時

/home -> /home\_sun/ユーザー名

表2.2 選択項目ごとの設定ユーザー個人領域サイズ

領域サイズ区分	AIX環境	Solaris環境
小	10 MB	10 MB
中	60 MB	20 MB
大	任意	任意

## (b) ユーザー共有領域

ユーザー共有領域は、ユーザー個人領域では収まらない大容量のデータ等を一時的に格納する領域としてAIX用とSolaris用に各々設け、全ての利用者が共有して使用可能な領域です。

なお、この領域は日本時間で毎週日曜日の23:00～24:00に全てクリアされますので、保持しておきたいデータはユーザー個人領域に移動して下さい。

表 2.3 ユーザー共有領域一覧

環境	共有領域名	領域サイズ
AIX側 (4つの領域のうちどこでも利用可能です)	/home/PUBLIC1	2 GB
	/home/PUBLIC2	2 GB
	/home/PUBLIC3	2 GB
	/home/PUBLIC4	2 GB
Solaris側	/home/PUBLIC	2.8 GB

## (2) バックアップ/復元

## (a) ユーザー個人領域のバックアップ/復元

・ユーザー個人領域のバックアップは、ILAS & RIS DHF 運用側が、1回/月定期的に行います。バックアップデータは2世代管理とし、バックアップされたデータは、2ヵ月保存したのち消去します。

・バックアップされたユーザー個人領域からの復元を希望する利用者は、ユーザー個人領域復元申請書を提出して下さい。

## (b) ユーザー共有領域のバックアップ/復元

・ユーザー共有領域のバックアップは行いませんので、データの管理は各自で行って下さい。

## (c) バックアップスケジュール

・ユーザー個人領域のバックアップは、日本時間で毎月第3土曜日のAM3:00から第4月曜日のAM7:00の間に行います。又、この間は利用可能な状態ですが、バックアップに支障がありますのでILAS & RIS DHF の利用は行わないで下さい。



2.2.3 各種周辺機器

以下の表 2.4にILAS & RIS DHF での利用可能な周辺機器一覧を示します。

表 2.4 周辺機器一覧

	接続 ホスト 名	接続 タイプ	デバイス名	設置場所
3.5 FD デバイス	vales01	内蔵	/vol/dev/rdiskette0/unlabeled	ILAS & RIS DHF 解析室
	vales02	内蔵		
	neter06	内蔵	/dev/fd0	
	neter07	内蔵		
	anaer02	内蔵		
8 mmテープ デバイス	anaes01	外付	利用を希望する場合には、ILAS & RIS DHF 運用者に相談して下さい	ILAS & RIS DHF 並列処理室
1/4 inch カートリッジ テープデバイス	neter06	外付	/dev/rmt0	ILAS & RIS DHF 解析室
	neter07	外付		
	anaer02	外付	/dev/rmt2	
	anaes01	外付	利用を希望する場合には、ILAS & RIS DHF 運用者に相談して下さい	ILAS & RIS DHF 並列処理室
cd-rom デバイス	vales01	内蔵	/vol/dev/rdsk/c0t6/prsto	ILAS & RIS DHF 解析室
	vales02	内蔵		
	anaes01	外付	利用を希望する場合には、ILAS & RIS DHF 運用者に相談して下さい	ILAS & RIS DHF 並列処理室
D-1 テープ デバイス	cwer02	外付	利用を希望する場合には、ILAS & RIS DHF 運用者に相談して下さい	ILAS & RIS DHF 並列処理室
モノクロプリンター			oprepml	ILAS & RIS DHF 解析室
カラープリンター			anaepcl	

## 2.3 計算機の利用方法

### 2.3.1 ログイン方法

#### (1) ILAS & RIS DHF 外部からのログイン

ILAS & RIS DHF は、DNS (Domain Name System) のドメインとしては、環境研究所のドメイン「nies」のサブドメイン「ilasris」として存在しています。したがって、ILAS & RIS DHF のドメイン名は「ilasris.nies.go.jp」となります。

ILAS & RIS DHF では、ハイ・セキュリティーのデータを扱うため、DHF 内の全てのノードを外部とアクセス出来るようには設定していません。このため、外部からILAS & RIS DHF を利用する際は、まずはじめに以下に示す特定のゲートウェイからログインして下さい。

##### (a) ゲートウェイ

外部から接続できるゲートウェイは2つあり、ドメイン名の先頭にホスト名を指定した以下のいずれかを指定して下さい。

AIX の環境へ接続する場合 : sp2fr.ilasris.nies.go.jp  
Solarisの環境へ接続する場合 : anafs01.ilasris.nies.go.jp

##### (b) ログイン

telnetコマンドを使い、前記のゲートウェイにログインして下さい。

例1、telnetを使用してsp2frにログインする。例としてログイン名を"username"としている。

```
% telnet sp2fr.ilasris.nies.go.jp [Enter]
AIX Version 3
(C) Copyrights by IBM and by others 1982, 1993.
login: username [Enter]
username's Password: ***** [Enter]
```

また、ILAS & RIS DHF 内の別のホストを使用したい場合は、表2.1にあるホスト名を指定して、再びログインしてください。

例2、telnetを使用してanaer02にログインする

```
% telnet anaer02 [Enter]
AIX Version 3
(C) Copyrights by IBM and by others 1982, 1993.
login: username [Enter]
username's Password: ***** [Enter]
```

## (2) ILAS &amp; RIS DHF 内部でのログイン

内部で利用する際には、解析室内のワークステーションでログインして下さい。

例3、vales01にログインする

```
vales01 console login: username [Enter]  
Password: ***** [Enter]
```

また、ILAS & RIS DHF 内の別のホストを使用したい場合は、前記「2.3.1(1)(b) ログイン」の例2と同じです。

### 2.3.2 プリンターの利用

ILAS & RIS DHF には、解析室にモノクロプリンター及びカラープリンターが設置されています。

以下にそれぞれのプリンター利用方法を説明します。

#### (1) モノクロプリンターIMAGIO 530/PJ5(oprepm1)の利用方法

lprコマンドにより、どのホストからでもプリント出力できるようになっており、デフォルトのプリンターとして設定されています。

(また、IMAGIO 530/PJ5はコピー機としても利用可能です。)

例1、ファイル"test\_data.c"をIMAGIO 530/PJ5に出力する場合

```
%lpr test_data.c
または、
%lpr -P oprepm1 test_data.c
```

#### (2) カラープリンターPhaser 440J (anaepc1)の利用方法

lprコマンドにより、どのホストからでもプリント出力できます。

例2、ファイル"test\_data.c"をPhaser 440Jに出力する場合

```
%lpr -P anaepc1 test_data.c
```

※ OHP用トランスペアレンシー出力の際は運用者へ相談下さい。

#### (注) モノクロプリンターSUN SPARC Printer II (spr)の利用方法 (衛星観測研究チーム内)

lprコマンドにより、anafs01 からプリント出力できます。

例3、ファイル"test\_data.c"をSUN SPARC Printer II に出力する場合

```
%lpr -P spr test_data.c
```

※ 本プリンターへの出力は、衛星観測研究チーム内の端末よりILAS & RIS DHF を利用される場合に限ります。

### 2.3.3 コンパイラ

#### (1) Cコンパイラ

ユーザーアカウント登録時に標準設定され、SUNのSolaris上でのCコンパイラと、IBMのAIX上でのCコンパイラの利用が可能です。

##### (a) SUNのSolaris上でのCコンパイラ

2種類のCコンパイラが利用可能です。

###### ① SPARCompiler C 3.0

- ・ コンパイルコマンド：`cc`
- ・ 利用可能ワークステーション：`anaes01, vales01, vales02`
- ・ オンラインマニュアル：  
`anaes01 : /export/home/SUNWspro/SC3.0/man`  
`vales01, vales02 : /opt/SUNWspro/SC3.0/man`

###### ② FUJITSU CコンパイラV 2.0.1

- ・ コンパイルコマンド：`fcc`
- ・ 利用可能ワークステーション：`anaes01`
- ・ オンラインマニュアル：  
`anaes01 : /opt/FSUNf90/fcc2.0.1/man`

##### (b) IBMのAIX上でのCコンパイラ

###### C Set++ コンパイラV 2

- ・ コンパイルコマンド：`cc, xlc, c89`  
`cc, xlc, 及び c89` コマンドは、XLCソース・ファイルをコンパイルするためのものです。これらのコマンドは、省略時言語仕様を除けば同じものです。`cc`の省略時言語仕様は"extended" (拡張仕様)です。`xlc` 及び `c89` の省略時言語仕様は"ansi"です。
- ・ 利用可能ワークステーション：`cwer03, cwer05, cwer06, cwer08,`  
`anaer02, neter06, neter07`
- ・ オンラインマニュアル：`/man/share/man`

## (2) FORTRANコンパイラ

ユーザーアカウント登録時に標準設定され、SUNのSolaris上でのFORTRANコンパイラと、IBMのAIX上でのFORTRANコンパイラの利用が可能です。

## (a) SUNのSolaris上でのFORTRANコンパイラ

2種類のFORTRANコンパイラが利用可能です。

## ① SPARCompiler FORTRAN 3.0

- ・ コンパイルコマンド：f77
- ・ 利用可能ワークステーション：anaes01,vales01,vales02
- ・ オンラインマニュアル：  
anaes01 : /export/home/SUNWspro/SC3.0/man  
vales01, vales02 : /opt/SUNWspro/SC3.0/man

## ② Fujitsu Fortran90 V2

- ・ コンパイルコマンド：ft
- ・ 利用可能ワークステーション：anaes01
- ・ オンラインマニュアル：  
anaes01 : /opt/FSUNf90/man

## (b) IBMのAIX上でのFORTRANコンパイラ

## XL Fortran V3R2

- ・ コンパイルコマンド：xlf
- ・ 利用可能ワークステーション：cwer03, cwer05, cwer06, cwer08,  
anaer02, neter06, neter07
- ・ オンラインマニュアル：/man/share/man

#### 2.3.4 各種パッケージソフト・ライブラリ

##### (1) ILAS & RIS DHF で利用可能なパッケージソフト・ライブラリ

ILAS & RIS DHF で利用可能なパッケージソフト・ライブラリを表2.5に示します。

##### (2) パッケージソフトの利用方法

各パッケージソフトの起動・終了方法を表2.5に示します。これらのパッケージの利用については、原則として、起動のための環境設定までをDHF側でサポートします。使用方法の詳細については、表2.5の備考欄に示すオンラインマニュアルや、ILAS & RIS DHF 解析室内のマニュアルを参照してください。

ただし、PV-WAVE, IDL については利用のための支援が可能です。また、ILAS & RIS DHF 外へのマニュアルの貸し出しが可能なものも若干ありますので、貸し出しを希望される方は、運用者まで相談して下さい。

##### (3) 利用可能なFree Software

利用者の協力により、gawk やgnuplot などのFree Software が整備されています。今後も順次整備を行う予定ですので、Free Software の利用およびインストールが可能となるものがありましたらILAS & RIS DHF に連絡して下さい。

今後の整備状況は、/usr/local/DOC/DHF\_Free.doc ファイルを順次更新しますのでご参照下さい。

表2.5 パッケージソフト・ライブラリー一覧

パッケージソフト名	機能概要	OS 区分	起動方法	終了方法	利用可能なマシン	備考 (オンラインマニュアル, ライブラリ所在等)
AVS V 5.01	データ可視化ツール	Solaris	avs	マウス操作	anaes01	
		AIX	avs	マウス操作	cwer08	
IDL V 3.6	データ可視化ツール	Solaris	idl	exit	anaes01	
		AIX	idl	exit	cwer08	
PV-WAVE V 5.0	データ可視化ツール	Solaris	wave	exit	anaes01	
S-PLUS V 3.1	S 言語ベースの統計解析ソフトウェア	Solaris	Splus	q()	anaes01	
		AIX	Splus	q()	cwer08	
BBN/Cornerstone R 1.1.2	データ解析ツール	Solaris	bbncs	マウス操作	anaes01	
IMSL (C:V 1.02) (Fortran:V 3.0) (Graphics:V 2.1)	数値計算・統計解析用ライブラリ、 グラフィックライブラリ(C, Fortran)	Solaris	-	-	anaes01	/export/home1/imsl
		AIX	-	-	cwer08	/usr/app/imsl
ESSL V 2	IBM 汎用数値計算ライブラリ	AIX	-	-	cwer03, 05, 06, 08	/usr/app/essl
SSL-II V 2.0.3	富士通汎用数値計算ライブラリ	Solaris	-	-	anaes01	/opt/FSUNf90/SSLII2.0.3/lib
Maple-V R 3	数式処理システム	Solaris	maple	quit	anaes01	/usr/local/maple/man
Mathematica V 2.23	数式処理システム	Solaris	math	Exit	anaes01	/export/home1/mathematica/Documents/man
Quantify V 2.0	C, C++の性能解析ツール	Solaris	quantify, qvコマンド	-	anaes01	/export/home1/quantify/man
CodeV V 8.10B	光学設計・評価ソフトウェア	Solaris	codev	マウス操作	anaes01	



### 2.3.5 ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データ

#### (1) 各種参照データの利用概要

ILAS & RIS DHF で利用できる各種参照データの内容、アクセス方式、ファイル形式、媒体等を表2.6に示します。

表2.6 各種参照データの利用概要

データの種別	データの内容	アクセス方式	ファイル形式	媒体	備考
UKMO全球気象データ	UKMO提供の全球の3次元グリッドにおける気象データ(気温、気圧、風向・風速データ等)	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	バイナリ (1日分/ファイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/ UKMO配下のドキュメントフ ァイル参照
既存の衛星データセット (統一フォーマット)	NASAの衛星観測による大気微量成分ガス濃度 やエアロゾル消滅係数の鉛直分布データ ・UARSレベル3ATデータ (HALOE, CLAES, ISAMS, MLSの各センサで 観測されたデータ) ・SAGE-I, SAGE-IIデータ	・参照依頼後、ILAS & RIS DHF 側で共 有領域にファイルを作成し、格納場 所を連絡	テキスト(オリジナルデータを ASCII形式のテキストファイルに 編集)  (衛星センサー・観測パラメ ータ毎に1月分/ファイル)	オンライン	利用の際、ILAS & RIS DHFシステム運用管理者まで ご連絡下さい。  /usr/local/DOC/other_sat 配下の ドキュメントファイル参照
ILASプロジェクト大気 モデルデータセット	上記の既存の衛星データセット(統一フォー マット)をもとに、対象パラメータ毎に緯度 帯別及び期間別に平均、標準偏差等の統計値 を算出した鉛直分布データ	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	テキスト (衛星センサー・観測パラメ ータ単位に1ファイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/prj_ atom配下のドキュメントフ ァイル参照
ILASデータ質評価用参 照大気モデルデータ	ILASプロジェクト大気モデルデータセットを もとにしてILASのデータ質評価用に作成した 大気モデルデータ	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	テキスト (観測パラメータ単位に1フ ァイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/val_ atom 配下のドキュメントフ ァイル参照
検証実験データベース (CMDB)	ILAS検証実験データを収集・保存したデータ	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	テキスト(AMESフォーマット) (1観測/ファイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/ CMDB 配下のドキュメントフ ァイル参照
太陽像データ	太陽観測拠点(郵政省通信総合研究所(CRL)平 磯及びBig Bear Solar Observatory)にて観測さ れた太陽画像データ	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	バイナリ (観測局毎に1日分/ファイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/sun_ imag配下のドキュメントフ ァイル参照
TOMSデータ	ADOS搭載のTOMSセンサーで観測されたデー タ ・TOMS L2'データ ・TOMS L3'データ ・TOMS L2データ(TBD) ・TOMS L3データ(TBD)	・ILAS & RIS DHF計算機での参照 ・FTPによるファイル転送	・TOMS L2':バイナリ(軌道1 周回/ファイル) ・TOMS L3':テキスト(1日/ ファイル) ・TOMS L2': HDF (軌道1周回/ ファイル) ・TOMS L3': HDF (1日/フ ァイル)	オンライン	利用の際、/usr/local/DOC/ TOMS配下のドキュメントフ ァイル参照

### 第3章 ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用

ILAS 及びRIS データの幅広い利用に対応するため、ILAS & RIS DHF ではILAS 及びRIS で観測したデータ（レベル0データ）を用いて処理したレベル1、レベル2 データを各々のデータ量及び利用頻度に適した媒体に保存しています。これらの媒体から利用者の注文に応じてデータの各種媒体変換を行い利用者へ提供しています。

#### 3.1 ILAS 標準処理データの提供機能の利用

この節でILAS 標準処理データの提供機能の概要を示します。詳細については「ILAS ユーザーズハンドブック」の「第3章 ILAS 標準処理データの提供」と、同ハンドブックの「添付資料A ADEOS/ILAS プロダクトフォーマット説明書」および「添付資料B データ提供システム利用手引き」を参照してください。

##### 3.1.1 提供データの内容

提供データの内容を以下に示します。

表3.1 ILAS 標準処理データの提供内容

データの種類	データの内容	ファイル形式	媒体
ILAS 標準処理データ	ILAS & RIS DHF で処理された以下のデータ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ILAS レベル1データ</li> <li>・ ILAS レベル2データ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDF形式</li> <li>・ テキスト形式 (AMESフォーマット)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン (ILAS レベル2データのみ)</li> <li>・ フロッピー</li> <li>・ MO</li> <li>・ 1/4インチテープ</li> <li>・ 8mmテープ</li> <li>・ 4mm DAT</li> <li>・ CD-ROM(TBD)</li> </ul>

### 3.1.2 提供機能を利用するために必要な申請

#### (1) 提供機能を利用するために必要な申請

提供機能を利用するためには、以下の申請が必要です。

- ・ ユーザーアカウント登録申請  
提供機能を利用する前に、必ず必要です。
- ・ ユーザーアカウント削除申請  
提供機能の利用が必要なくなった場合、申請してください。

これら申請についての詳細は「第4章 利用に関する各種申請」を参照してください。

#### (2) 提供機能用計算機

本提供機能のサービスは、セキュリティの観点から、国立環境研究所のファイアウォールの外のバリアセグメント上の「ILAS 及びRIS 標準処理データの提供用サーバー」計算機(ILAS WWWサーバーによる提供も同一計算機)により行われます。図2.5 ILAS & RIS DHF ネットワーク構成図を参照。なお、計算機資源を利用する場合は、ILAS & RIS DHF 内のネットワークセグメント(ドメイン名: ilasris.nies.go.jp)上の計算機の各種資源が利用対象となります。

従って、ユーザーアカウント登録申請にて、利用形態として「ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用」のみを選択した場合には、データ提供用計算機にのみ申請ユーザーのアカウントが設定されます。利用形態として「計算機資源の利用」のみを選択した場合には、ILAS & RIS DHF 内セグメント上の計算機にのみ申請ユーザーのアカウントが設定されます。また、利用形態として両者を選択した場合は、双方の計算機にアカウントが設定されます。この場合、双方の利用ログイン名とパスワードは登録時には同一のものが設定されます。

### 3.2 RIS 標準処理データの提供機能の利用

詳細については「RIS ユーザーズハンドブック」を参照してください。  
(提供方法、提供データの内容についてはTBD)

## 第4章 ILAS & RIS DHF 利用に関する各種申請

### 4.1 ユーザーアカウント登録申請の手順

以下にユーザーアカウント登録手順を示します。(図4.1 参照)

- ① 利用希望者は、ILAS & RIS DHF 運用管理者に電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント登録申請書用紙の送付依頼を行います。本手引きに添付された申請書をコピーして申請しても構いません。
- ② ILAS & RIS DHF 運用管理者は、利用希望者に電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント登録申請書用紙の送付を行います。
- ③ 利用希望者は、ユーザーアカウント登録申請書用紙を受領し、利用希望者欄に記入し、申請責任者に送付します。  
利用希望者と申請責任者が同一の場合も、利用希望者欄及び申請責任者欄の記入をお願いします。
- ④ 申請責任者は、利用希望者欄のチェックを行います。
- ⑤ 申請責任者は、ユーザーアカウント登録申請書用紙の申請責任者欄を記入し、ILAS & RIS DHF 運用管理者に電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント登録申請書を送付します。
- ⑥ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザーアカウント登録申請書を受領します。
- ⑦ ILAS & RIS DHF 責任者は、ユーザーアカウント登録申請書のチェックを行い、利用承認を行います。  
なお、申請内容に不備があった場合、申請責任者にその旨を連絡しますので再検討をお願いします。
- ⑧ ILAS & RIS DHF 運用担当者は、ユーザーアカウント登録を行います。
- ⑨ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザーアカウント登録通知書を電子メール又は封書により申請責任者に送付します。
- ⑩ 申請責任者は、受領したユーザーアカウント登録通知書の内容を把握します。  
なお、ユーザーアカウント登録通知書の管理は申請責任者が行って下さい。
- ⑪ 利用希望者は、申請責任者よりユーザーアカウント登録通知書のコピーを受領し、内容を把握して下さい。

- (注1) 「計算機資源の利用」に供する計算機と、「ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用」に供する計算機は別の計算機です。  
本ユーザーアカウント登録申請により、利用形態に合った計算機にユーザーアカウントが登録されます。詳しくは「3.1.2 (2) 提供機能のサービスを行う計算機」を参照して下さい。

(注2) ILAS & RIS DHF 計算機のパスワード変更方法

(a) 「計算機資源の利用」の場合

ILAS & RIS DHF 内のネットワークセグメント上の計算機では、ユーザーアカウントとパスワードはNIS により管理しています。従ってパスワードの変更はILAS & RIS DHF 内のネットワークセグメント上の全てのワークステーションに対し自動的に反映されます。パスワードの変更は、ILAS & RIS DHF 内セグメント上の計算機についてはセキュリティ上、6 ヶ月に一度以上の変更をお願いいたします。パスワードの変更方法は以下の通りです。

・ yppasswd コマンドでのパスワード変更方法

AIX 環境の場合

```
%yppasswd ログイン名
Old yp password:旧パスワード入力
New password:新パスワード入力
Retype new password:もう一度新パスワード入力
yellow pages passwd changed on cwer07
%
```

Solaris 環境の場合

```
%yppasswd ログイン名
Enter login(NIS) password:旧パスワード入力
New password:新パスワード入力
Re-enter new password:もう一度新パスワード入力
NIS(YP) passwd/attributes changed on cwer07
%
```

(b) 「ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用」の場合

データ提供機能の利用の際に必要なパスワードは、申請時に設定されたままのものを使用して下さい。利用者自身による変更はできません。  
ご注意下さい。

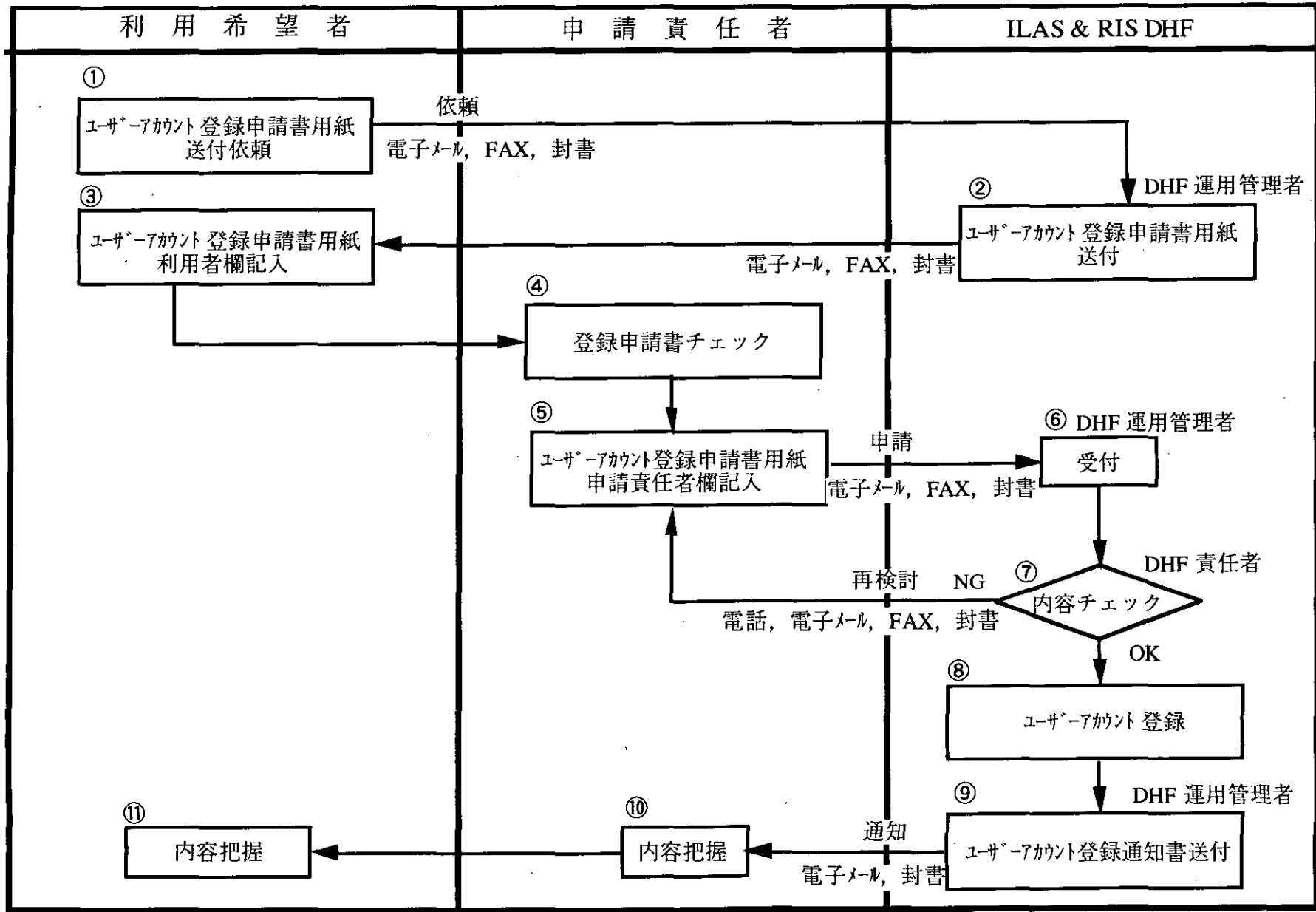


図 4.1 ユーザーアカウント登録申請の流れ



## 4.2 ユーザー個人領域拡張申請の手順

以下にユーザー個人領域の拡張手順を示します。(図4.2 参照)

- ① 利用者は、ILAS & RIS DHF 運用管理者に電子メール、FAX又は封書によりユーザー個人領域拡張申請書用紙の送付依頼を行います。本手引きに添付された申請書をコピーして申請しても構いません。
- ② ILAS & RIS DHF 運用管理者は、利用者に電子メール、FAX又は封書によりユーザー個人領域拡張申請書用紙の送付を行います。
- ③ 利用者は、ユーザー個人領域拡張申請書用紙を受領し、利用者欄を記入し、申請責任者に送付します。
- ④ 申請責任者は、利用者欄のチェックを行います。
- ⑤ 申請責任者は、ユーザー個人領域拡張申請書用紙の申請責任者欄の記入を行い、ILAS & RIS DHF 運用管理者にFAX、電子メール又は封書によりユーザー個人領域拡張申請書を送付します。
- ⑥ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザー個人領域拡張申請書を受領します。
- ⑦ ILAS & RIS DHF 責任者は、ユーザー個人領域拡張申請書のチェックを行い、拡張承認を行います。  
なお、申請内容に不備があった場合、申請責任者にその旨を連絡しますので再検討をお願いします。
- ⑧ ILAS & RIS DHF 運用担当者は、ユーザー個人領域拡張を行います。
- ⑨ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザー個人領域拡張通知書を電子メール、FAX又は封書により送付します。
- ⑩ 申請責任者は、受領したユーザー個人領域拡張通知書の内容を把握します。  
なお、ユーザー個人領域拡張通知書の管理は申請責任者が行って下さい。
- ⑪ 利用者は、申請責任者よりユーザー個人領域拡張通知書のコピーを受領し、内容を把握します。

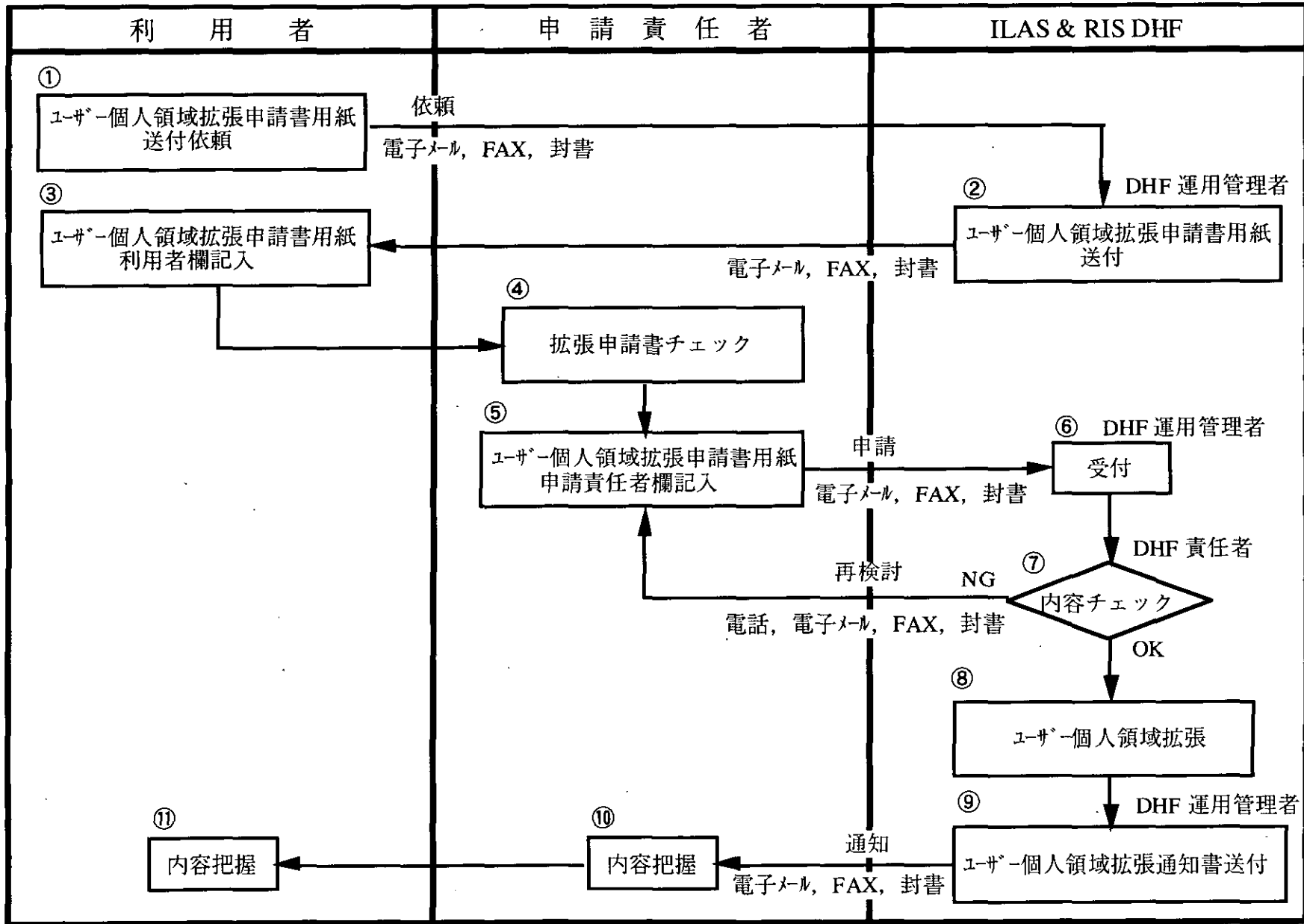


図 4.2 ユーザー個人領域拡張申請の流れ

#### 4.3 パスワード再発行申請の手順（パスワード不明時の対処方法）

本申請は、パスワードが不明になり、再発行を希望する場合に行ってください。  
以下にパスワードの再発行手順を示します。（図4.3 参照）

- ① 利用者は、ILAS & RIS DHF 運用管理者に電子メール、FAX又は封書により、パスワード再発行申請書用紙の送付依頼を行います。本手引きに添付された申請書をコピーして申請しても構いません。
- ② ILAS & RIS DHF 運用管理者は、電子メール、FAX又は封書によりパスワード再発行申請書用紙の送付を行います。
- ③ 利用者は、パスワード再発行申請書用紙を受領し、利用者欄を記入し、ILAS & RIS DHF 運用管理者にFAX、電子メール又は封書によりパスワード再発行申請書を送付します。
- ④ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、パスワード再発行申請書を受領します。
- ⑤ ILAS & RIS DHF 責任者は、パスワード再発行申請書のチェックを行い、パスワード再発行承認を行います。  
なお、申請内容に不備があった場合は、その旨を連絡しますので再検討お願いします。
- ⑥ ILAS & RIS DHF 運用担当者は、パスワードの再発行を行います。
- ⑦ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、利用者に電子メール又は封書により、パスワード再発行通知書を送付します。
- ⑧ 利用者は、パスワード再発行通知書を受領し、内容を把握して下さい。

(注) 本申請は、「計算機資源の利用」時に必要なパスワードを対象としています。

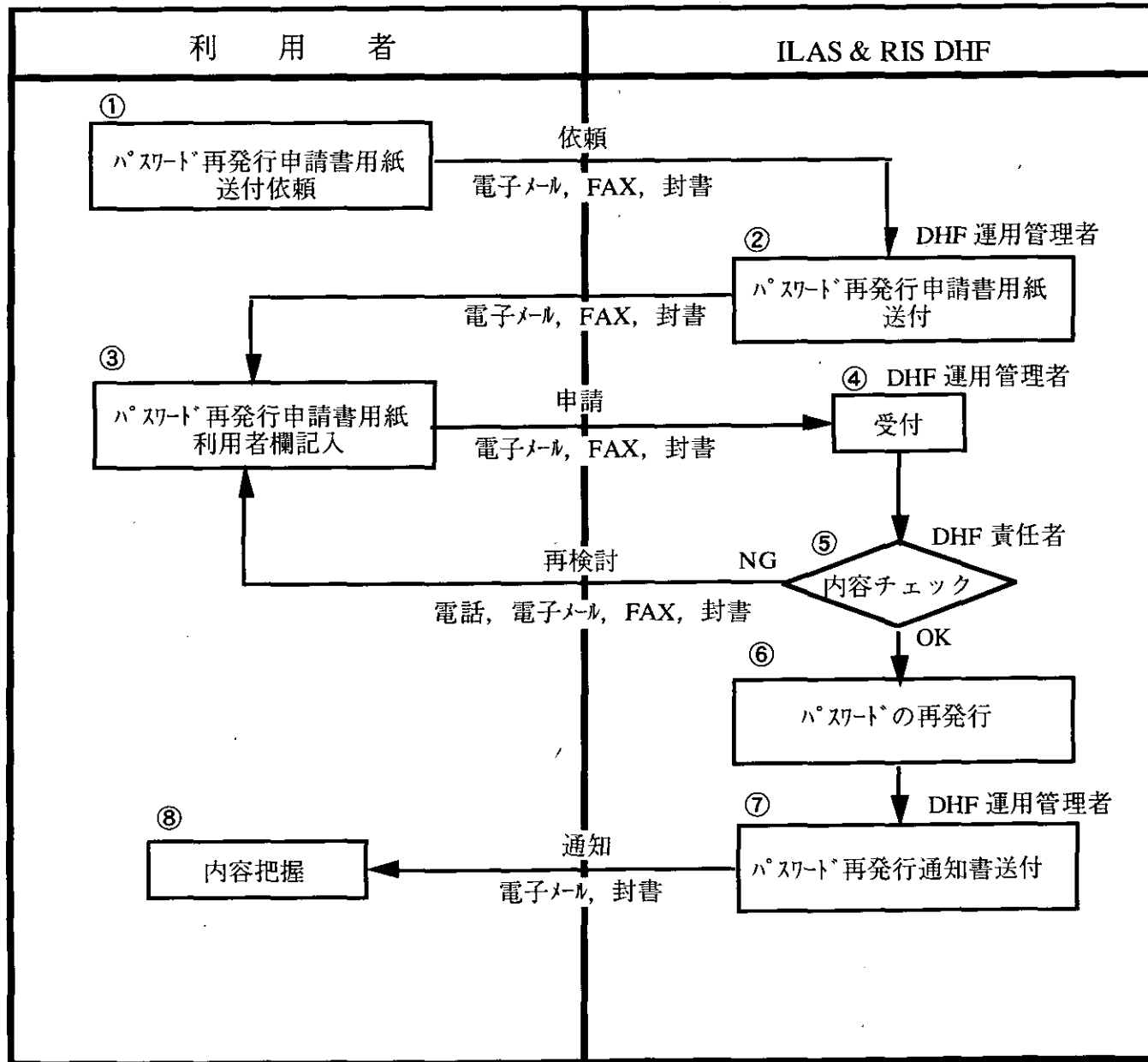


図 4.3 パスワードの再発行申請の流れ

#### 4.4 ユーザー個人領域データ復元申請の手順

以下にユーザー個人領域データ復元手順を示します。(図4.4.参照)

- ① 利用者は、ILAS & RIS DHF 運用管理者に、電子メール、FAX又は封書により、ユーザー個人領域データ復元申請書用紙の送付依頼を行います。本手引きに添付された申請書をコピーして申請しても構いません。
- ② ILAS & RIS DHF 運用管理者は、利用者に電子メール、FAX又は封書によりユーザー個人領域データ復元申請書用紙の送付を行います。
- ③ 利用者は、ユーザー個人領域データ復元申請書用紙を受領し、利用者欄を記入し、ILAS & RIS DHF 運用管理者にFAX、電子メール又は封書によりユーザー個人領域データ復元申請書を送付します。
- ④ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザー個人領域データ復元申請書を受領します。
- ⑤ ILAS & RIS DHF 責任者は、ユーザー個人領域データ復元申請書のチェックを行い、復元承認を行います。  
なお、申請内容に不備があった場合は、その旨を連絡しますので再検討お願いします。
- ⑥ ILAS & RIS DHF 運用担当者は、ユーザー個人領域データの復元を行います。
- ⑦ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、電子メール、FAX又は封書によりユーザー個人領域データ復元通知書を送付します。
- ⑧ 利用者は、ユーザー個人領域データ復元通知書を受領し、内容を把握します。

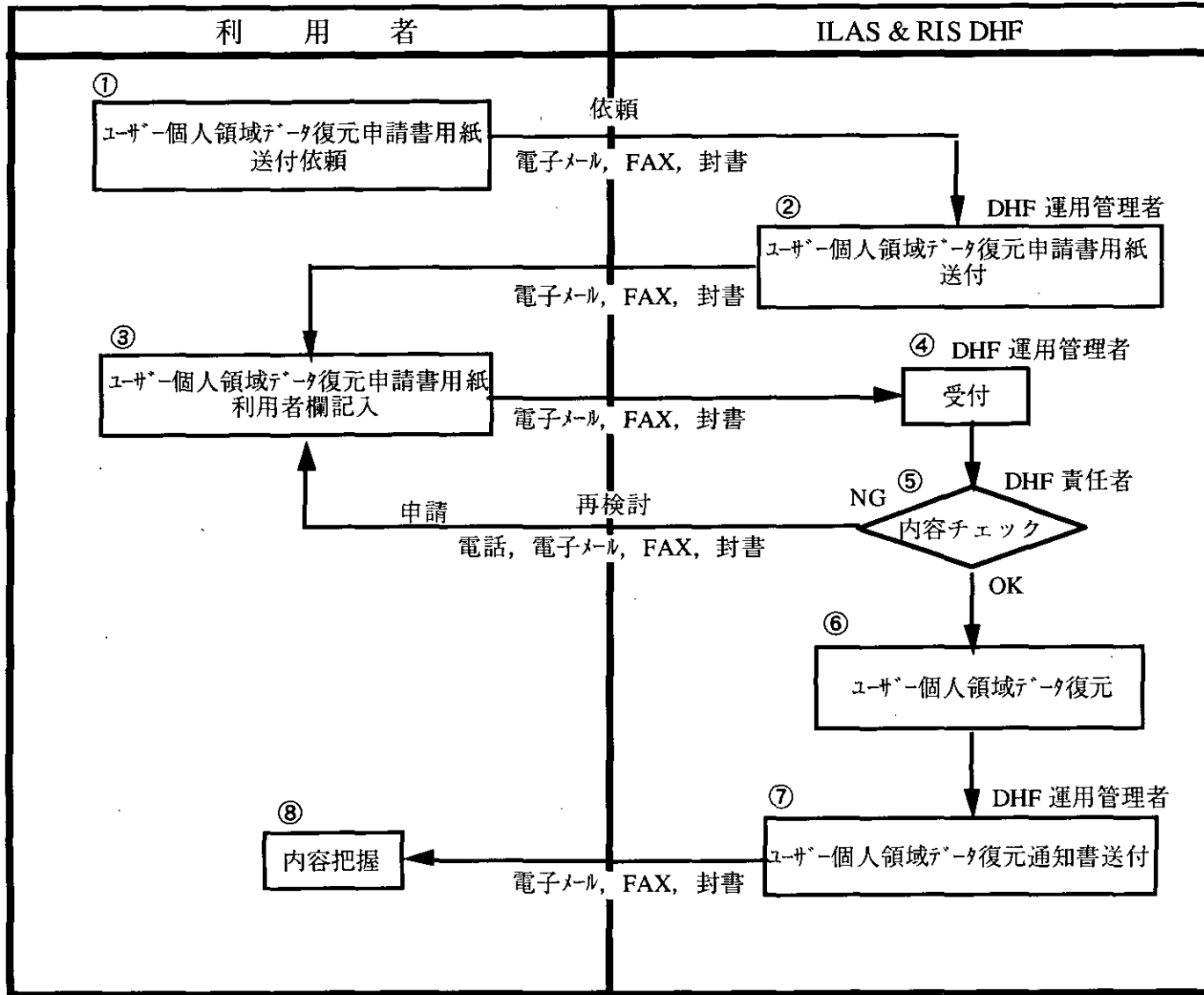


図 4.4 ユーザー個人領域データ復元申請の流れ

#### 4.5 ユーザーアカウント削除申請の手順

利用を完了した時は必ずユーザーアカウント削除申請を行って下さい（注）を参照）。

以下にユーザーアカウント削除手順を示します。（図4.5 参照）

- ① 利用者は、ILAS & RIS DHF 運用管理者に、電子メール、FAX又は封書により、ユーザーアカウント削除申請書用紙の送付依頼を行います。本手引きに添付された申請書をコピーして申請しても構いません。
- ② ILAS & RIS DHF 運用管理者は、利用者に電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント削除申請書用紙の送付を行います。
- ③ 利用者は、ユーザーアカウント削除申請書用紙を受領し、利用者欄を記入し、申請責任者に送付します。
- ④ 申請責任者は、利用者欄のチェックを行います。
- ⑤ 申請責任者は、ユーザーアカウント削除申請書用紙の申請責任者欄を記入し、ILAS & RIS DHF 運用管理者に電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント削除申請書を送付します。
- ⑥ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、ユーザーアカウント削除申請書を受領します。
- ⑦ ILAS & RIS DHF 責任者は、ユーザーアカウント削除申請書のチェックを行い、削除承認を行います。  
なお、申請内容に不備があった場合は、申請責任者にその旨を連絡しますので再検討お願いします。
- ⑧ ILAS & RIS DHF 運用担当者は、ユーザーアカウントの削除を行います。
- ⑨ ILAS & RIS DHF 運用管理者は、電子メール、FAX又は封書によりユーザーアカウント削除通知書を送付します。
- ⑩ 申請責任者は、受領したユーザーアカウント削除通知書の内容を把握します。  
なお、ユーザーアカウント削除通知書の管理は申請責任者が行って下さい。
- ⑪ 利用者は、申請責任者よりユーザーアカウント削除通知書のコピーを受領し、内容を把握します。

(注) ユーザーアカウント削除申請以外でDHFにてユーザーアカウントを削除する

ケースは以下のとおりです。

- ・有効期間の切れたユーザーアカウント
  - ・1年間利用されていないユーザーアカウント
- ただし、削除前に事前にご連絡致します。

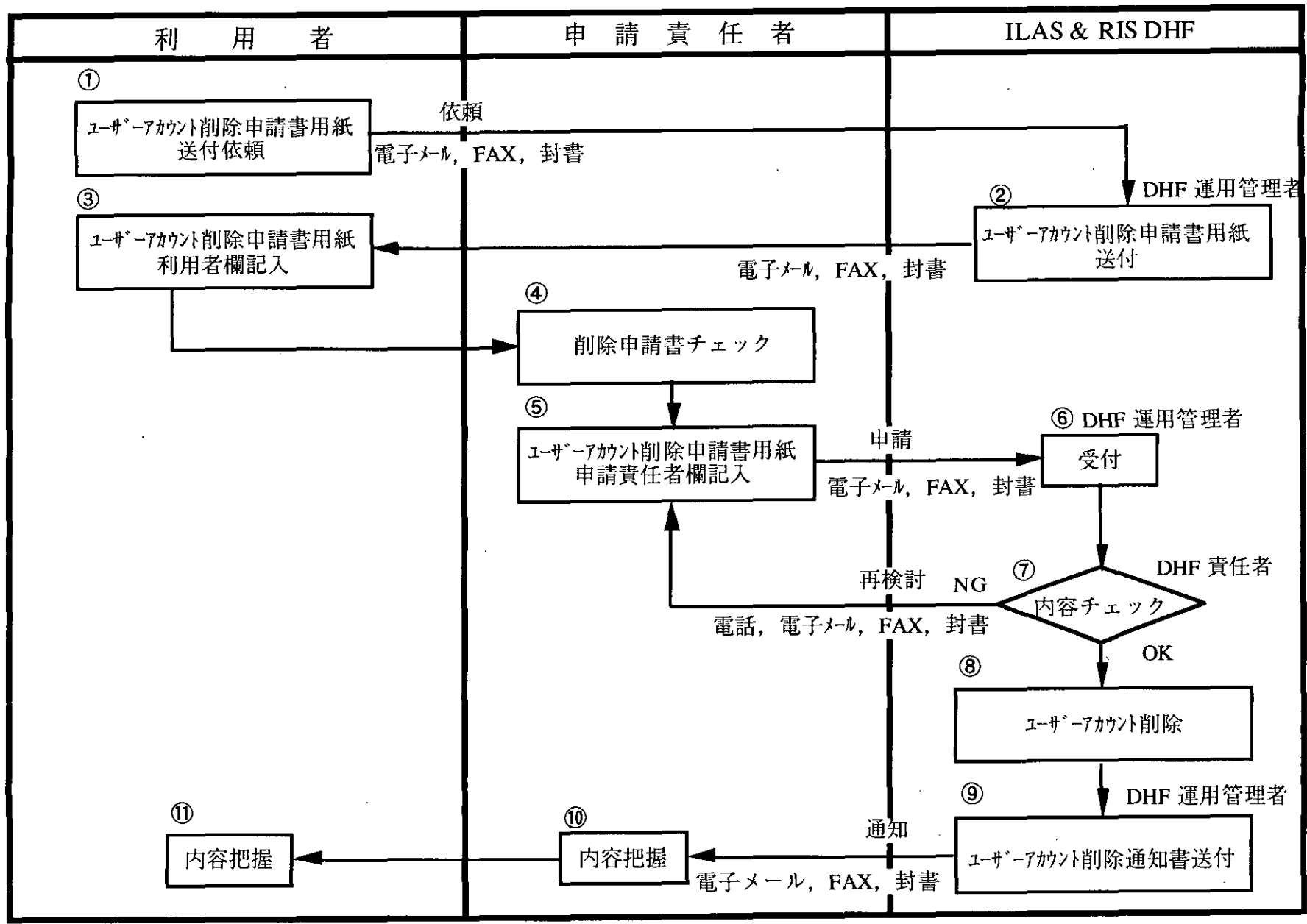


図 4.5 ユーザーアカウント削除申請の流れ



## 付録

ILAS & RIS DHF 利用に関する各種申請の詳細

## 目 次

- 1 ユーザーアカウント登録申請
  - 1.1 ユーザーアカウント登録申請書用紙 . . . . . A-1
  - 1.2 ユーザーアカウント登録申請書記入例 . . . . . A-1
  - 1.3 ユーザーアカウント登録申請書用紙の詳細記入内容 . . . . . A-1
- 2 ユーザー個人領域拡張申請
  - 2.1 ユーザー個人領域拡張申請書用紙 . . . . . A-4
  - 2.2 ユーザー個人領域拡張申請書記入例 . . . . . A-4
  - 2.3 ユーザー個人領域拡張申請書用紙の詳細記入内容 . . . . . A-4
- 3 パスワード再発行申請
  - 3.1 パスワード再発行申請書用紙 . . . . . A-6
  - 3.2 パスワード再発行申請書記入例 . . . . . A-6
  - 3.3 パスワード再発行申請書用紙の詳細記入内容 . . . . . A-6
- 4 ユーザー個人領域データ復元申請
  - 4.1 ユーザー個人領域データ復元申請書用紙 . . . . . A-7
  - 4.2 ユーザー個人領域データ復元申請書記入例 . . . . . A-7
  - 4.3 ユーザー個人領域データ復元申請書用紙の詳細記入内容 . . . . . A-7
- 5 ユーザーアカウント削除申請
  - 5.1 ユーザーアカウント削除申請書用紙 . . . . . A-8
  - 5.2 ユーザーアカウント削除申請書記入例 . . . . . A-8
  - 5.3 ユーザーアカウント削除申請書用紙の詳細記入内容 . . . . . A-8
- 6 各種申請書用紙と記入例 . . . . . A-10

## 1 ユーザーアカウント登録申請

ユーザーアカウントの登録を申請する際に使用します。

### 1.1 ユーザーアカウント登録申請書用紙

- ・ 様式No.V01-SN01 にFAX、封書用のユーザーアカウント登録申請書用紙を示します。
- ・ 様式No.V01-SE01 にE-mail用のユーザーアカウント登録申請書用紙を示します。

### 1.2 ユーザーアカウント登録申請書記入例

- ・ FAX、封書用のユーザーアカウント登録申請書記入例も示します。
- ・ E-mail用のユーザーアカウント登録申請書記入例も示します。

### 1.3 ユーザーアカウント登録申請書用紙の詳細記入内容

#### (1) 利用希望者記入欄

利用希望者記入欄は、利用希望者本人が記入して下さい。

- ・ 項目(1)―1 ローマ字  
利用者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(1)―2 氏名  
利用者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―3 機関名又は会社名  
利用者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―5 住所  
利用者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―6 連絡先  
利用者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。

- ・ 項目(1)―7 希望ログイン名とパスワード  
ILAS & RIS DHF に登録を希望するログイン名の第一希望および第二希望とパスワードを記入して下さい。ログイン名として、先頭文字が英小文字ではじまる3～8文字を使用して下さい。使用可能な文字は、英小文字と数字です。  
パスワードとして、3～8文字を使用して下さい。使用可能な文字は、数字、英大文字、英小文字、UNIX システムが扱うことのできる記号 ("#\$%&'()\*+,-./:;<=>@[¥]^\_`{|}~!) です。  
指定された第一希望のログイン名を既に他の利用者が使用している場合には第二希望を採用し、どちらも既に他の利用者が使用している場合には、申請責任者に連絡をとりログイン名の再検討をして頂きます。
- ・ 項目(1)―8 利用形態  
「計算機資源の利用」のみの場合には「1」、  
「ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用」のみの場合には「2」、  
両者の利用の場合には「3」を記入して下さい。詳細は、「4.1 (注1), (注2)」を参照して下さい。
- ・ 項目(1)―9 ユーザー個人領域サイズ  
「計算機資源の利用」を行う場合にのみ記入して下さい。AIX環境とSolaris環境の各々に対し、希望する領域サイズを選択項目の"小"、"中"、"大"の中から選択して下さい。"大"を選択した場合には、希望する領域サイズも記入して下さい。
- ・ 項目(1)―10 ユーザーアカウント使用期間  
申請したユーザーアカウントを使用する期間を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―11 作業内容  
どのような目的でILAS & RIS DHF を利用するのか、作業概要を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―12 メーリングリスト登録  
ILAS & RIS DHF のメーリングリストメンバーに加入するか選択して下さい。
- ・ 項目(1)―13 備考  
ILAS & RIS DHF の利用に関する要望がありましたら記入して下さい。

## (2) 申請責任者記入欄

申請責任者記入欄は、申請責任者が記入して下さい。

- ・ 項目(2)―1 ローマ字  
申請責任者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(2)―2 氏名  
申請責任者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―3 機関名又は会社名  
申請責任者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。

- ・項目(2)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
  - ・項目(2)―5 住所  
申請責任者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
  - ・項目(2)―6 連絡先  
申請責任者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。
- (注) ユーザーアカウント登録申請書用紙の(3)及び(4)はILAS & RIS  
DHF 側で記入を行います。

## 2 ユーザー個人領域拡張申請

ユーザー個人領域の拡張を申請する際に使用します。

### 2.1 ユーザー個人領域拡張申請書用紙

- ・ 様式No.V01-SN02 にFAX、封書用のユーザー個人領域拡張申請書用紙を示します。
- ・ 様式No.V01-SE02 にE-mail用のユーザー個人領域拡張申請書用紙を示します。

### 2.2 ユーザー個人領域拡張申請書記入例

- ・ FAX、封書用のユーザー個人領域拡張申請書記入例も示します。
- ・ E-mail用のユーザー個人領域拡張申請書記入例も示します。

### 2.3 ユーザー個人領域拡張申請書用紙の詳細記入内容

#### (1) 利用者記入欄

利用者記入欄は、利用者本人が記入して下さい。

- ・ 項目(1)―1 ローマ字  
利用者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(1)―2 氏名  
利用者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―3 機関名又は会社名  
利用者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―5 住所  
利用者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―6 連絡先  
利用者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。
- ・ 項目(1)―7 利用ログイン名  
領域を拡張するユーザーのログイン名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―8 希望の拡張領域サイズ  
AIX環境、Solaris環境別にユーザー個人領域の拡張サイズを記入して下さい。

- ・ 項目(1)―9 拡張理由  
どのような作業の為に拡張領域が必要なのか等、理由を記入して下さい。

(2) 申請責任者記入欄

申請責任者記入欄は、申請責任者が記入して下さい。

- ・ 項目(2)―1 ローマ字  
申請責任者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(2)―2 氏名  
申請責任者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―3 機関名又は会社名  
申請責任者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―5 住所  
申請責任者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―6 連絡先  
申請責任者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。

### 3 パスワード再発行申請

パスワードの再発行を申請する際に使用します。

#### 3.1 パスワード再発行申請書用紙

- ・ 様式No.V01-SN03 にFAX、封書用のパスワード再発行申請書用紙を示します。
- ・ 様式No.V01-SE03 にE-mail 用のパスワード再発行申請書用紙を示します。

#### 3.2 パスワード再発行申請書記入例

- ・ FAX、封書用のパスワード再発行申請書記入例も示します。
- ・ E-mail 用のパスワード再発行申請書記入例も示します。

#### 3.3 パスワード再発行申請書用紙の詳細記入内容

##### (1) 利用者記入欄

利用者記入欄は、利用者本人が記入して下さい。

- ・ 項目1 ローマ字  
利用者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目2 氏名  
利用者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目3 機関名又は会社名  
利用者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目5 住所  
利用者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目6 連絡先  
利用者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。
- ・ 項目7 利用ログイン名  
パスワードの再発行を行う対象のログイン名を記入して下さい。
- ・ 項目8 希望パスワード  
設定を希望するパスワードを記入して下さい。
- ・ 項目9 不明の理由  
パスワードが不明になった理由を記入して下さい。



## 4 ユーザー個人領域データ復元申請

ユーザー個人領域データの復元を申請する際に使用します。

### 4.1 ユーザー個人領域データ復元申請書用紙

- ・ 様式No.V01-SN04 にFAX、封書用のユーザー個人領域データ復元申請書用紙を示します。
- ・ 様式No.V01-SE04 にE-mail用のユーザー個人領域データ復元申請書用紙を示します。

### 4.2 ユーザー個人領域データ復元申請書記入例

- ・ FAX、封書用のユーザー個人領域データ復元申請書記入例も示します。
- ・ E-mail用のユーザー個人領域データ復元申請書記入例も示します。

### 4.3 ユーザー個人領域データ復元申請書用紙の詳細記入内容

#### (1) 利用者記入欄

利用者記入欄は、利用者本人が記入して下さい。

- ・ 項目1 ローマ字  
利用者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目2 氏名  
利用者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目3 機関名又は会社名  
利用者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目5 住所  
利用者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目6 連絡先  
利用者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。
- ・ 項目7 利用ログイン名  
復元を希望するユーザーのログイン名を記入して下さい。

- ・ 項目8 復元対象環境  
AIX環境とSolaris環境で復元を希望する環境を選択して下さい。
- ・ 項目9 復元対象領域名／ファイル名とデータサイズ  
復元を希望する絶対パスファイル名とデータサイズを記入して下さい。
- ・ 項目10 データ復元理由  
復元が必要な理由を記入して下さい。

## 5 ユーザーアカウント削除申請

ユーザーアカウントの削除を申請する際に使用します。

### 5.1 ユーザーアカウント削除申請書用紙

- ・ 様式No.V01-SN05 にFAX、封書用のユーザーアカウント削除申請書用紙を示します。
- ・ 様式No.V01-SE05 にE-mail用のユーザーアカウント削除申請書用紙を示します。

### 5.2 ユーザーアカウント削除申請書記入例

- ・ FAX、封書用のユーザーアカウント削除申請書記入例も示します。
- ・ E-mail用のユーザーアカウント削除申請書記入例も示します。

### 5.3 ユーザーアカウント削除申請書用紙の詳細記入内容

#### (1) 利用者記入欄

利用者記入欄は、利用者本人が記入して下さい。

- ・ 項目(1)―1 ローマ字  
利用者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(1)―2 氏名  
利用者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―3 機関名又は会社名  
利用者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―5 住所  
利用者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―6 連絡先  
利用者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。
- ・ 項目(1)―7 利用ログイン名  
削除対象ユーザーのログイン名を記入して下さい。
- ・ 項目(1)―8 削除依頼日  
ユーザーアカウントの削除を希望する日付を記入して下さい。

## (2) 申請責任者記入欄

申請責任者記入欄は、申請責任者が記入して下さい。

- ・ 項目(2)―1 ローマ字  
申請責任者氏名を姓名の順にローマ字で記入して下さい。
- ・ 項目(2)―2 氏名  
申請責任者氏名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―3 機関名又は会社名  
申請責任者が在籍する大学等の機関名又は会社名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―4 所属部署名  
機関又は会社での所属する部署名を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―5 住所  
申請責任者の機関又は会社の住所を記入して下さい。
- ・ 項目(2)―6 連絡先  
申請責任者の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入して下さい。

6 各種申請書用紙と記入例

ILAS &amp; RIS DHF 責任者殿

年 月 日

## ユーザーアカウント登録申請書 (FAX、封書用)

事前に合意された研究以外の目的で、ILAS & RIS DHF システムを利用しない事を了承し、ユーザーアカウントの登録を申請いたします。

## (1) 利用希望者記入欄

1	ローマ字(姓名の順)			
2	氏 名			
3	機関名又は会社名			
4	所属部署名			
5	住 所	〒		
6	連絡先	TEL	FAX	
		E-mail		
7	希望ログイン名とパスワード	ログイン名	第一希望： ----- 第二希望：	パスワード：
8	利用形態	1. 計算機資源の利用	2. ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用	3. 1 と2 の両方利用 選択項目：
9	ユーザー個人領域サイズ (ホーム)	利用形態で1, 3 を選択時、右欄を記入のこと	AIX環境 小(10 MB), 中(60 MB), 大( ) MB	選択項目：
			Solaris環境 小(10 MB), 中(20 MB), 大( ) MB	選択項目：
10	ユーザーアカウント使用期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
11	作業内容			
12	メールリスト登録 (日本語版)	1. 登録する 2. 登録しない	選択項目：	
13	備 考			

## (2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字(姓名の順)			
2	氏 名			
3	機関名又は会社名			
4	所属部署名			
5	住 所	〒		
6	連絡先	TEL	FAX	
		E-mail		

-----ILAS &amp; RIS DHF 記入欄-----

## (3) 申請責任者のメンバーシップカテゴリー

<input type="checkbox"/> ILAS Project Staff	<input type="checkbox"/> JRA-PIs: ILAS data use only
<input type="checkbox"/> ILAS Science Team	<input type="checkbox"/> JRA-PIs: Multiple sensor data use including ILAS data
<input type="checkbox"/> ILAS Validation Experiment Team: Core	<input type="checkbox"/> ILAS Project Advisory Committee
<input type="checkbox"/> ILAS Validation Experiment Team: Cooperative	<input type="checkbox"/> RIS
<input type="checkbox"/> Others ( )	

## (4) ユーザーアカウント所属グループ

1	グループ名	
---	-------	--

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

ILAS & RIS DHF 責任者殿

年 月 日

## ユーザーアカウント登録申請書 (E-mail用)

事前に合意された研究以外の目的で、ILAS & RIS DHF システムを利用しない事を  
了承し、ユーザーアカウントの登録を申請いたします。

### (1) 利用希望者記入欄

- 1 ローマ字氏名 (姓名の順) :
- 2 日本語氏名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住所 : 〒
- 6 連絡先 : TEL FAX  
: E-mail
- 7 希望ログイン名とパスワード : 第一希望 第二希望  
: パスワード
- 8 利用形態 : 1. 計算機資源の利用  
: 2. ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用  
: 3. 1 と2 の両方利用  
選択項目 ( )
- 9 ユーザー個人領域サイズ : AIX環境 小(10MB), 中(60MB), 大( MB)  
(利用形態で1, 3 を選択時、  
右欄を記入のこと) 選択項目 ( )  
: Solaris環境 小(10MB), 中(20MB), 大( MB)  
選択項目 ( )
- 10 ユーザーアカウント使用期間 : 年 月 日 ~ 年 月 日
- 11 作業内容 :
- 12 メーリングリスト登録 : 1. 登録する、2. 登録しない 選択番号:  
(日本語版)
- 13 備考 :

### (2) 申請責任者記入欄

- 1 ローマ字氏名 (姓名の順) :
- 2 日本語氏名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住所 : 〒
- 6 連絡先 : TEL FAX  
: E-mail

-----ILAS & RIS DHF 記入欄-----

### (3) 申請責任者のメンバーシップカテゴリー

- ( ) ILAS Project Staff
- ( ) ILAS Science Team
- ( ) ILAS Validation Experiment Team: Core
- ( ) ILAS Validation Experiment Team: Cooperative
- ( ) JRA-PIs: ILAS data use only
- ( ) JRA-PIs: Multiple sensor data use including ILAS data
- ( ) ILAS Project Advisory Committee
- ( ) RIS
- ( ) Others ( )

### (4) ユーザーアカウント所属グループ

- 1 グループ名:

No.

ILAS & RIS DHF 責任者:

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。  
様式No.V01-SN01

ILAS & RIS DHF 責任者殿

1998年 10月 10日

### ユーザーアカウント登録申請書 (FAX、封書用)

事前に合意された研究以外の目的で、ILAS & RIS DHF システムを利用しない事を了承し、ユーザーアカウントの登録を申請いたします。

(1) 利用希望者記入欄

1	ローマ字(姓名の順)	Yamamura, Tarou		
2	氏名	山村 太郎		
3	機関名又は会社名	さくら大学		
4	所属部署名	工学部 情報工学科		
5	住所	〒 305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1		
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999	
		E-mail yamamura@sakura.ac.jp		
7	希望ログイン名とパスワード	ログイン名	第一希望: yamamura 第二希望: yama	パスワード: hosizora
8	利用形態	1. 計算機資源の利用	2. ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用	3. 1 と2 の両方利用
9	ユーザー個人領域サイズ (ホーム)	利用形態で1, 3を選択時、右欄を記入のこと	AIX環境 小(10 MB), 中(60 MB), 大(      MB)	選択項目: 中
			Solaris環境 小(10 MB), 中(20 MB), 大(      MB)	選択項目: 小
10	ユーザーアカウント使用期間	1998年 12月 1日 ~ 2003年 6月 30日		
11	作業内容	ILAS シミュレーターのプログラミングとデータ作成		
12	メールアドレス登録 (日本語版)	1. 登録する 2. 登録しない	選択項目: 1	
13	備考			

(2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字(姓名の順)	Yamada, Ichirou		
2	氏名	山田 一郎		
3	機関名又は会社名	さくら大学		
4	所属部署名	工学部 情報工学科		
5	住所	〒 305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1		
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999	
		E-mail yamada@sakura.ac.jp		

----- ILAS & RIS DHF 記入欄 -----

(3) 申請責任者のメンバーシップカテゴリー

<input type="checkbox"/> ILAS Project Staff	<input type="checkbox"/> JRA-PIs: ILAS data use only
<input type="checkbox"/> ILAS Science Team	<input type="checkbox"/> JRA-PIs: Multiple sensor data use including ILAS data
<input type="checkbox"/> ILAS Validation Experiment Team: Core	<input type="checkbox"/> ILAS Project Advisory Committee
<input type="checkbox"/> ILAS Validation Experiment Team: Cooperative	<input type="checkbox"/> RIS
<input type="checkbox"/> Others (                      )	

(4) ユーザーアカウント所属グループ

1	グループ名	
---	-------	--

No.	ILAS & RIS DHF 責任者



## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No.V01-SE01

ILAS & RIS DHF 責任者殿

1998年 10月 10日

## ユーザーアカウント登録申請書 (E-mail用)

事前に合意された研究以外の目的で、ILAS & RIS DHF システムを利用しない事を了承し、ユーザーアカウントの登録を申請いたします。

### (1) 利用希望者記入欄

- |    |  |   |  |
|----|--|---|--|
| 1  | ローマ字氏名 (姓名の順)                                | : | Yamamura, Tarou  |
| 2  | 日本語氏名  | : | 山村 太郎  |
| 3  | 機関名又は会社名                                     | : | さくら大学  |
| 4  | 所属部署名  | : | 工学部 情報工学科  |
| 5  | 住所   | : | 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1  |
| 6  | 連絡先  | : | T E L 9999-99-9999 F A X 9999-99-9999<br>E-mail yamamura@sakura.ac.jp                        |
| 7  | 希望ログイン名とパスワード                                | : | 第一希望 yamamura 第二希望 yama<br>パスワード hosizora  |
| 8  | 利用形態   | : | 1. 計算機資源の利用<br>2. ILAS 及びRIS 標準処理データの提供機能の利用<br>3. 1 と2 の両方利用<br>選択項目 (3)                    |
| 9  | ユーザー個人領域サイズ<br>(利用形態で1, 3 を選択時、<br>右欄を記入のこと) | : | AIX環境 小(10MB), 中(60MB), 大( MB)<br>選択項目 (中)<br>Solaris環境 小(10MB), 中(20MB), 大( MB)<br>選択項目 (小) |
| 10 | ユーザーアカウント使用期間                                | : | 1998年 12月 1日 ~ 2003年 6月 30日  |
| 11 | 作業内容   | : | ILAS シミュレーターのパログラミングとデータ作成   |
| 12 | メーリングリスト登録<br>(日本語版)                         | : | 1. 登録する、2. 登録しない 選択番号: 1   |
| 13 | 備考   | : |  |

### (2) 申請責任者記入欄

- |   |               |   |   |
|---|---------------|---|---|
| 1 | ローマ字氏名 (姓名の順) | : | Yamada, Ichirou   |
| 2 | 日本語氏名         | : | 山田 一郎   |
| 3 | 機関名又は会社名      | : | さくら大学   |
| 4 | 所属部署名         | : | 工学部 情報工学科   |
| 5 | 住所            | : | 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1   |
| 6 | 連絡先           | : | T E L 9999-99-9999 F A X 9999-99-9999<br>E-mail yamada@sakura.ac.jp |

-----ILAS & RIS DHF 記入欄-----

### (3) 申請責任者のメンバーシップカテゴリ

- ( ) ILAS Project Staff
- ( ) ILAS Science Team
- ( ) ILAS Validation Experiment Team: Core
- ( ) ILAS Validation Experiment Team: Cooperative
- ( ) JRA-PIs: ILAS data use only
- ( ) JRA-PIs: Multiple sensor data use including ILAS data
- ( ) ILAS Project Advisory Committee
- ( ) RIS
- ( ) Others ( )

### (4) ユーザーアカウント所属グループ

- |   |       |   |  |
|---|-------|---|--|
| 1 | グループ名 | : |  |
|---|-------|---|--|

No.

ILAS & RIS DHF 責任者:

ユーザー個人領域拡張申請書 (FAX、封書用)

## (1) 利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所	〒	
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	
7	利用ログイン名		
8	希望の拡張領域サイズ* (バイト単位)	AIX環境	希望 MB
		Solaris環境	希望 MB
9	拡張理由		

## (2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所	〒	
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

ILAS & RIS DHF 責任者殿

年 月 日

## ユーザー個人領域拡張申請書 (E-mail用)

(1) 利用者記入欄

- 1 ローマ字 (姓名の順) :
- 2 氏 名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住 所 :〒
- 6 連絡先 : TEL FAX
- : E-mail
- 7 利用ログイン名 :
- 8 希望の拡張領域サイズ (バイト単位)  
: AIX 環境 希望 MB  
: Solaris 環境 希望 MB
- 9 拡張理由 :  
:  
:  
:

(2) 申請責任者記入欄

- 1 ローマ字 (姓名の順) :
- 2 氏 名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住 所 :〒
- 6 連絡先 : TEL FAX
- : E-mail

No.

ILAS & RIS DHF 責任者 :

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。  
様式No.V01-SN02

ILAS & RIS DHF 責任者殿

1999年 7月 1日

### ユーザー個人領域拡張申請書 (FAX、封書用)

(1) 利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamamura, Tarou	
2	氏 名	山村 太郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamamura@sakura.ac.jp	
7	利用ログイン名	yamamura	
8	希望の拡張領域*1/2* (バイト単位)	AIX 環境	希望 50 MB
		Solaris 環境	希望 10 MB
9	拡張理由	UKMO全球気象データを使用し、気温、気圧の変動の調査/研究を行う為、	
		上記領域サイズを使用したい。	

(2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamada, Ichirou	
2	氏 名	山田 一郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamada@sakura.ac.jp	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No. V01-SE02

ILAS & RIS DHF 責任者殿

1999年 7月 1日

## ユーザー個人領域拡張申請書 (E-mail用)

### (1) 利用者記入欄

- |   |             |   |
|---|-------------|---|
| 1 | ローマ字 (姓名の順) | : Yamamura, Tarou                                       |
| 2 | 氏名          | : 山村 太郎   |
| 3 | 機関名又は会社名    | : さくら大学   |
| 4 | 所属部署名       | : 工学部 情報工学科   |
| 5 | 住所          | : 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1                                   |
| 6 | 連絡先         | : TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999                     |
|   |             | : E-mail yamamura@sakura.ac.jp                          |
| 7 | 利用ログイン名     | : yamamura  |
| 8 | 希望の拡張領域サイズ  | : AIX 環境 希望 50MB<br>Solaris 環境 希望 10MB                  |
| 9 | 拡張理由        | : UKMO全球気象データを使用し、気温、気圧の変動の調査/研究を<br>行う為、上記領域サイズを使用したい。 |

### (2) 申請責任者記入欄

- |   |             |                                     |
|---|-------------|-------------------------------------|
| 1 | ローマ字 (姓名の順) | : Yamada, Ichirou                   |
| 2 | 氏名          | : 山田 一郎                             |
| 3 | 機関名又は会社名    | : さくら大学                             |
| 4 | 所属部署名       | : 工学部 情報工学科                         |
| 5 | 住所          | : 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1               |
| 6 | 連絡先         | : TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999 |
|   |             | : E-mail yamada@sakura.ac.jp        |

No.

ILAS & RIS DHF 責任者:

パスワード再発行申請書 (FAX、封書用)

ユーザーアカウントのパスワードが不明になったため、パスワードの再発行をお願いいたします。

## 利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所	〒	
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	
7	利用ログイン名		
8	希望パスワード (最大8文字)		
9	不明の理由		

No.	ILAS & RIS DHF 責任者



## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。  
様式No. V01-SN03

ILAS & RIS DHF 責任者殿

2001年 7月 7日

### パスワード再発行申請書 (FAX、封書用)

ユーザーアカウントのパスワードが不明になったため、パスワードの再発行をお願いいたします。

利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamamura, Tarou	
2	氏 名	山村 太郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamamura@sakura.ac.jp	
7	利用ログイン名	yamamura	
8	希望パスワード (最大8文字)	hosizora	
9	不明の理由	設定したパスワードを忘れてしまったため	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者



## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No.V01-SE03

ILAS & RIS DHF 責任者殿

2001年 7月 7日

## パスワード再発行申請書 (E-mail用)

ユーザーアカウントのパスワードが不明になったため、パスワードの再発行をお願いいたします。

### 利用者記入欄

- |   |                 |                                     |
|---|-----------------|-------------------------------------|
| 1 | ローマ字 (姓名の順)     | : Yamamura, Tarou                   |
| 2 | 氏 名             | : 山村 太郎                             |
| 3 | 機関名又は会社名        | : さくら大学                             |
| 4 | 所属部署名           | : 工学部 情報工学科                         |
| 5 | 住 所             | : 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1               |
| 6 | 連絡先             | : TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999 |
|   |                 | : E-mail yamamura@sakura.ac.jp      |
| 7 | 利用ログイン名         | : yamamura                          |
| 8 | 希望パスワード (最大8文字) | : hosizora                          |
| 9 | 不明の理由           | : 設定したパスワードを忘れてしまったため               |
|   |                 | :                                   |
|   |                 | :                                   |

No.

ILAS & RIS DHF 責任者:

ユーザー個人領域データ復元申請書 (FAX、封書用)

利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所		
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	
7	ログイン名		
8	復元対象環境	1. AIX環境    2. Solaris環境	選択番号:
9	復元対象 領域名/ファイル名と データサイズ	AIX環境	復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)
			:
			データ量:
		Solaris環境	復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)
			:
			データ量:
10	データ復元理由		

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

ILAS & RIS DHF 責任者殿

年 月 日

## ユーザー個人領域データ復元申請書 (E-mail用)

### 利用者記入欄

- 1 ローマ字 (姓名の順) :
- 2 氏 名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住 所 : 〒
- 6 連絡先 : TEL FAX  
: E-mail
- 7 利用ログイン名 :
- 8 復元対象環境 : 1. AIX環境, 2. Solaris環境 選択番号 :
- 9 復元対象領域名/ファイル名  
とデータサイズ : AIX環境  
: 復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)  
:  
: データ量  
: Solaris環境  
: 復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)  
:  
: データ量
- 10 データ復元理由 :

No.  
ILAS & RIS DHF 責任者 :

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No. V01-SN04

ILAS & RIS DHF 責任者殿

年 月 日

### ユーザー個人領域データ復元申請書 (FAX、封書用)

利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamamura, Tarou	
2	氏 名	山村 太郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamamura@sakura.ac.jp	
7	ログイン名	yamamura	
8	復元対象環境	1. AIX環境    2. Solaris環境	選択番号: 1
9	復元対象 領域名/ファイル名と データサイズ	AIX環境	復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)
			: /home/yamamura/testdata
		データ量: 3MB	
		Solaris環境	復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)
: データ量:			
10	データ復元理由	誤って削除してしまったため	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No.V01-SE04

ILAS & RIS DHF 責任者殿

1999年 9月 1日

## ユーザー個人領域データ復元申請書 (E-mail用)

### 利用者記入欄

- |    |                          |  |
|----|--------------------------|--|
| 1  | ローマ字 (姓名の順)              | : Yamamura, Tarou  |
| 2  | 氏 名                      | : 山村 太郎  |
| 3  | 機関名又は会社名                 | : さくら大学  |
| 4  | 所属部署名                    | : 工学部 情報工学科  |
| 5  | 住 所                      | : 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1  |
| 6  | 連絡先                      | : TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999<br>: E-mail yamamura@sakura.ac.jp  |
| 7  | 利用ログイン名                  | : yamamura   |
| 8  | 復元対象環境                   | : 1. AIX環境, 2. Solaris環境 選択番号: 1   |
| 9  | 復元対象領域名/ファイル名<br>とデータサイズ | : AIX環境の<br>: 復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)<br>: /home/yamamura/testdata<br>: データ量: 3 MB<br>: Solaris環境の<br>: 復元対象領域名/ファイル名 (絶対パス)<br>: .<br>: データ量:<br>: 誤って削除してしまったため |
| 10 | データ復元理由                  |  |

No.

ILAS & RIS DHF 責任者:

ILAS &amp; RIS DHF 責任者殿

年 月 日

ユーザーアカウント削除申請書 (FAX、封書用)

ILAS &amp; RIS DHF の利用が不要となりましたので、下記のユーザーアカウントの削除をお願いいたします。

## (1) 利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所	〒	
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	
7	利用ログイン名		
8	削除依頼日	年 月 日	

## (2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)		
2	氏 名		
3	機関名又は会社名		
4	所属部署名		
5	住 所	〒	
6	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者

ILAS & RIS DHF 責任者殿

年 月 日

## ユーザーアカウント削除申請書 (E-mail用)

ILAS & RIS DHF の利用が不要となりましたので、下記のユーザーアカウントの削除をお願いいたします。

(1) 利用者記入欄

- 1 ローマ字 (姓名の順) :
- 2 氏 名 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住 所 : 〒
- 6 連絡先 : TEL FAX  
: E-mail
- 7 利用ログイン名 :
- 8 削除依頼日 : 年 月 日

(2) 申請責任者記入欄

- 1 ローマ字 (姓名の順) :
- 2 名 前 :
- 3 機関名又は会社名 :
- 4 所属部署名 :
- 5 住 所 : 〒
- 6 連絡先 : TEL FAX  
: E-mail

No.  
ILAS & RIS DHF 責任者 :

## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。  
様式No.V01-SN05

ILAS & RIS DHF 責任者殿

2000年 6月 20日

### ユーザーアカウント削除申請書 (FAX、封書用)

ILAS & RIS DHF の利用が不要となりましたので、下記のユーザーアカウントの削除をお願い致します。

(1) 利用者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamamura, Tarou	
2	氏 名	山村 太郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 3-2-1	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamamura@sakura.ac.jp	
7	利用の'イ'名	yamamura	
8	削除依頼日	2000年 7月 1日	

(2) 申請責任者記入欄

1	ローマ字 (姓名の順)	Yamada, Ichirou	
2	名 前	山田 一郎	
3	機関名又は会社名	さくら大学	
4	所属部署名	工学部 情報工学科	
5	住 所	〒305 茨城県つくば市玉戸 1-10-5	
6	連絡先	TEL 9999-99-9999	FAX 9999-99-9999
		E-mail yamada@sakura.ac.jp	

No.	ILAS & RIS DHF 責任者



## 記入例

※網かけの部分が記入して頂く所です。

様式No.V01-SE05

ILAS & RIS DHF 責任者殿

2002年 6月 20日

## ユーザーアカウント削除申請書 (E-mail用)

ILAS & RIS DHF の利用が不要となりましたので、下記のユーザーアカウントの削除をお願いいたします。

### (1) 利用者記入欄

- |   |             |   |                                   |
|---|-------------|---|-----------------------------------|
| 1 | ローマ字 (姓名の順) | : | Yamamura, Tarou                   |
| 2 | 氏 名         | : | 山村 太郎                             |
| 3 | 機関名又は会社名    | : | さくら大学                             |
| 4 | 所属部署名       | : | 工学部 情報工学科                         |
| 5 | 住 所         | : | 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1               |
| 6 | 連絡先         | : | TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999 |
|   |             | : | E-mail yamamura@sakura.ac.jp      |
| 7 | 利用ログイン名     | : | yamamura                          |
| 8 | 削除依頼日       | : | 2002年 7月 1日                       |

### (2) 申請責任者記入欄

- |   |             |   |                                   |
|---|-------------|---|-----------------------------------|
| 1 | ローマ字 (姓名の順) | : | Yamada, Ichirou                   |
| 2 | 名 前         | : | 山田 一郎                             |
| 3 | 機関名又は会社名    | : | さくら大学                             |
| 4 | 所属部署名       | : | 工学部 情報工学科                         |
| 5 | 住 所         | : | 〒305 茨城県つくば市玉戸3-2-1               |
| 6 | 連絡先         | : | TEL 9999-99-9999 FAX 9999-99-9999 |
|   |             | : | E-mail yamada@sakura.ac.jp        |

No.

ILAS & RIS DHF 責任者: